



ユーザーガイド

Amazon WorkSpaces シンククライアント



Amazon WorkSpaces シンククライアント: ユーザーガイド

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は、Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

Amazon WorkSpaces シンククライアントとは	1
WorkSpaces シンククライアントを初めてお使いになる方向けの情報	1
WorkSpaces シンククライアントを介した Amazon エンドユーザーコンピューティング (EUC) サービスへのアクセス	1
WorkSpaces シンククライアントについて知る	2
WorkSpaces シンククライアントデバイスに必要なすべては次のとおりです。	2
WorkSpaces シンククライアントデバイスの対応	4
WorkSpaces シンククライアントデバイスの前面	5
WorkSpaces シンククライアントデバイスのバック	5
USB ハブ	6
WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する	6
オプションの WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する	9
WorkSpaces シンククライアントデバイスの準備ができました	10
Amazon WorkSpaces シンククライアントサービスのセットアップ	12
言語を選択してください。	12
キーボードタイプを特定します。	13
キーボードレイアウト	16
ローカルネットワークへの接続	19
アクティベーションコードを入力する	20
AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにサインインする	22
デバイスの使用	24
ツールバーの使用	24
ツールバーへのアクセス	24
ツールバー関数	26
仮想サービスプロバイダーインターフェイスの使用	28
マイクとウェブカメラを有効にする	28
でマイクとウェブカメラのアクセス許可を有効にする VDI	29
ウェブブラウザでのアクセス許可の有効化	34
WorkSpaces シンククライアントでのサウンド設定の変更	36
仮想デスクトップからボリュームレベルを設定する	36
WorkSpaces シンククライアントのデフォルトボリュームの変更	37
WorkSpaces シンククライアントでのミュートの使用	41
ディスプレイ解像度の管理	41
4K モニターの接続	42

表示解像度の変更	43
ディスプレイ解像度のリセット	45
画面キャプチャの実行	45
PrintScreen ボタンの使用	45
WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動	46
ツールバーを使用して再起動する	46
手動再起動	46
スリープモードの設定	47
ネットワークの管理	48
ネットワークの詳細の表示	48
ネットワークの切断	49
ネットワークを忘れる	50
使用可能なネットワークを表示する	51
新しいネットワークを追加する	51
ソフトウェア更新の延期	52
デバイスの仕様	56
WorkSpaces シンククライアントデバイスの仕様	56
USB ハブ仕様	57
サポートされている周辺機器	57
トラブルシューティング	60
WorkSpaces シンククライアントデバイスのトラブルシューティング	60
周辺機器は認識されません	60
WorkSpaces シンククライアントワークスペースにアクセスできない	60
ヘッドセットの音量が非常に小さいか、聞こえない	61
オーディオビデオ会議通話中にオーディオがひび割れたり、障害が発生したりする	61
WorkSpaces シンククライアントの既知の問題	62
VDI ログイン画面でリンクを選択した場合は、ログイン画面に戻る必要があります。	62
キーボードショートカットを使用すると、予期しない動作が発生する可能性があります。	62
デバイスの実行中に一部の周辺機器が認識されない場合があります。	60
設定からイーサネットネットワークの IP アドレスを表示することはできません。	63
VDI ツールバーの一部のメニューオプションが表示されますが、機能しません。	63
OOBE または 設定でサポートされているキーボードレイアウトが見つかりません。	63
デバイス設定でサポートされているキーボードレイアウトを選択できますが、仮想セッション内で特定のキーを入力することはできません。	63
ツールバーを初めて選択すると、ツールバーが展開または折りたたまれません。	64

スリープから目覚めると、WorkSpaces Thin Client デバイスはセッションを起動する前に キーボードとマウスのセットアップ画面を数秒間表示します。	64
WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動時に、エンドユーザーはセッションを起 動する前に、更新の準備と確認の移行画面が繰り返し表示されます。	65
WorkSpaces シンククライアントデバイスの更新は有効になっていません。	65
ウェブカメラは で有効になっておらず WorkSpaces、上部ツールバーのアイコンは灰色の ままです。	65
4K モニターがフル解像度ではない	65
WorkSpaces シンククライアントデバイスは、スリープ時間またはアイドル時間中にソフト ウェア更新をインストールしません。	65
仮想デスクトップインターフェースのトラブルシューティング	66
ドキュメント履歴	67
.....	lxix

Amazon WorkSpaces シンククライアントとは

WorkSpaces シンククライアントは、完全なクラウドデスクトップソリューションを提供するために AWS、エンドユーザーコンピューティング (EUC) 仮想デスクトップと連携するように構築されたコスト効率の高いシンククライアントデバイスです。WorkSpaces シンククライアントは、キーボード、マウス、ヘッドセット、ウェブカメラなど、2 台のモニターと複数の USB デバイスを接続するように設計されたコンパクトなデバイスです。エンドポイントのセキュリティを最大化するために、WorkSpaces Thin Client デバイスはローカルデータストレージや未承認アプリケーションのインストールを許可しません。WorkSpaces シンククライアントデバイスには、デバイス管理ソフトウェアがプリロードされています。

トピック

- [WorkSpaces シンククライアントを初めてお使いになる方向けの情報](#)
- [WorkSpaces シンククライアントを介した Amazon エンドユーザーコンピューティング \(EUC\) サービスへのアクセス](#)

WorkSpaces シンククライアントを初めてお使いになる方向けの情報

WorkSpaces シンククライアントを初めて使用する場合は、まず以下のセクションを読むことをお勧めします。

- [WorkSpaces シンククライアントについて知る](#)
- [Amazon WorkSpaces シンククライアントサービスのセットアップ](#)
- [デバイスの仕様](#)

WorkSpaces シンククライアントを介した Amazon エンドユーザーコンピューティング (EUC) サービスへのアクセス

WorkSpaces シンククライアントを介して Amazon WorkSpaces、Amazon WorkSpaces Secure Browser、または AppStream 2.0 のいずれかにアクセスし、アプリケーションとデータをクラウドに保持して、セキュリティを強化し、一元管理することができます。

WorkSpaces シンククライアントデバイスについて理解する

WorkSpaces シンククライアントを使用すると、AWS エンドユーザーコンピューティング仮想デスクトップを通じて、関連するアプリケーションやデータに瞬時に安全にアクセスできます。WorkSpaces シンククライアントデバイスの使用を開始するには、キーボード、マウス、モニターを使用して設定し、ネットワークに接続します。

では、始めましょう。

トピック

- [WorkSpaces シンククライアントデバイスに必要なすべては次のとおりです。](#)
- [WorkSpaces シンククライアントデバイスの対応](#)
- [WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する](#)
- [オプションの WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する](#)
- [WorkSpaces シンククライアントデバイスの準備ができました](#)

WorkSpaces シンククライアントデバイスに必要なすべては次のとおりです。

WorkSpaces シンククライアントを使用するには、以下が必要です。

Note

この機器を受け取ったはずですが、このリストで足りないものがある場合は、管理者にお問い合わせください。

提供されている機器

- WorkSpaces 1 つの USB-A ポート、1 つの HDMI-Out ポート、1 つのイーサネットポートを備えたシンククライアントデバイス





必要な機器 (提供されていない場合もあります)

- USB-A 入力をサポートする USB ハブ - デバイスに接続します
- キーボード - USB ハブに接続します
- マウス - USB ハブに接続します
- モニタリング - WorkSpaces シンククライアントデバイスの HDMI-Out ポートに接続します

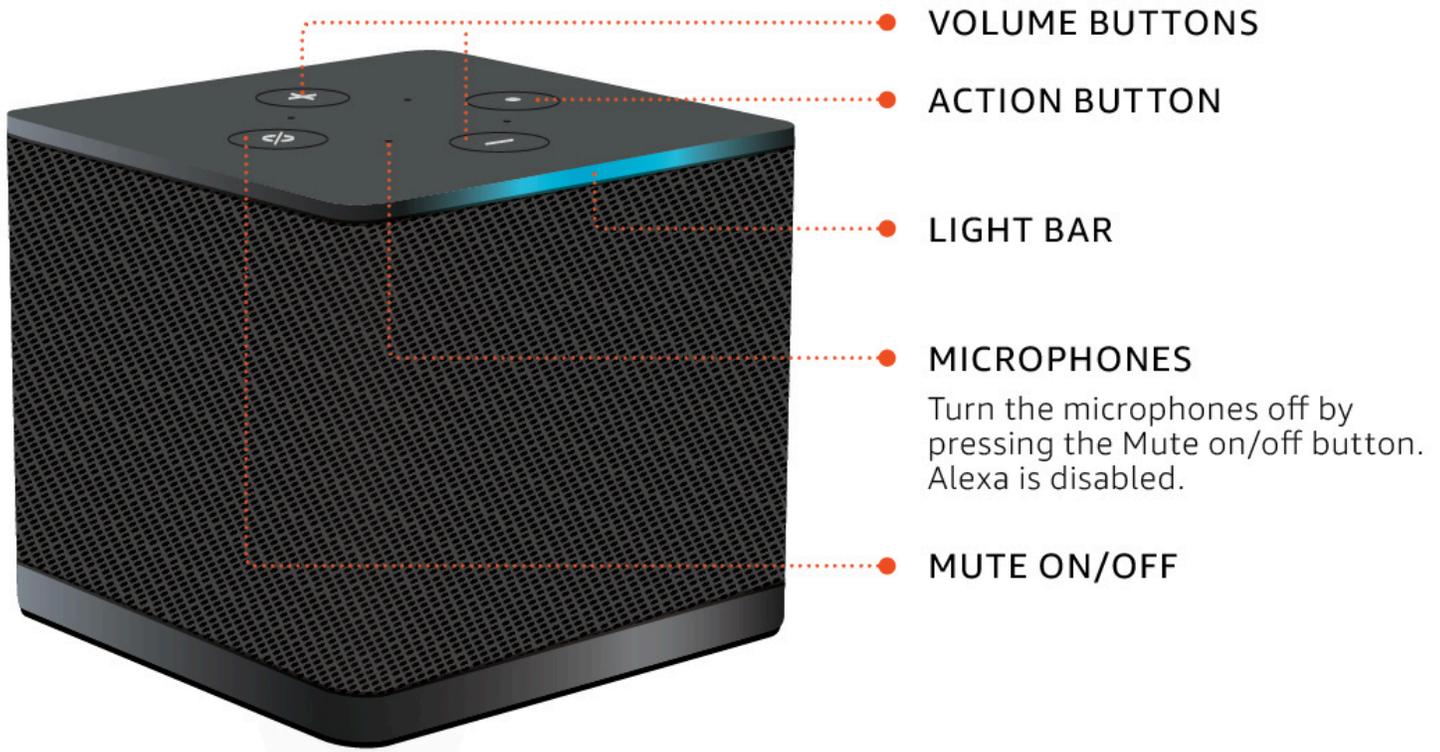
オプション機器 (付属していません)

- 2 番目のモニター - USB ハブの HDMI-Out ポートに接続します
- ウェブカメラ - USB ハブに接続します
- ヘッドセット - USB ハブに接続します

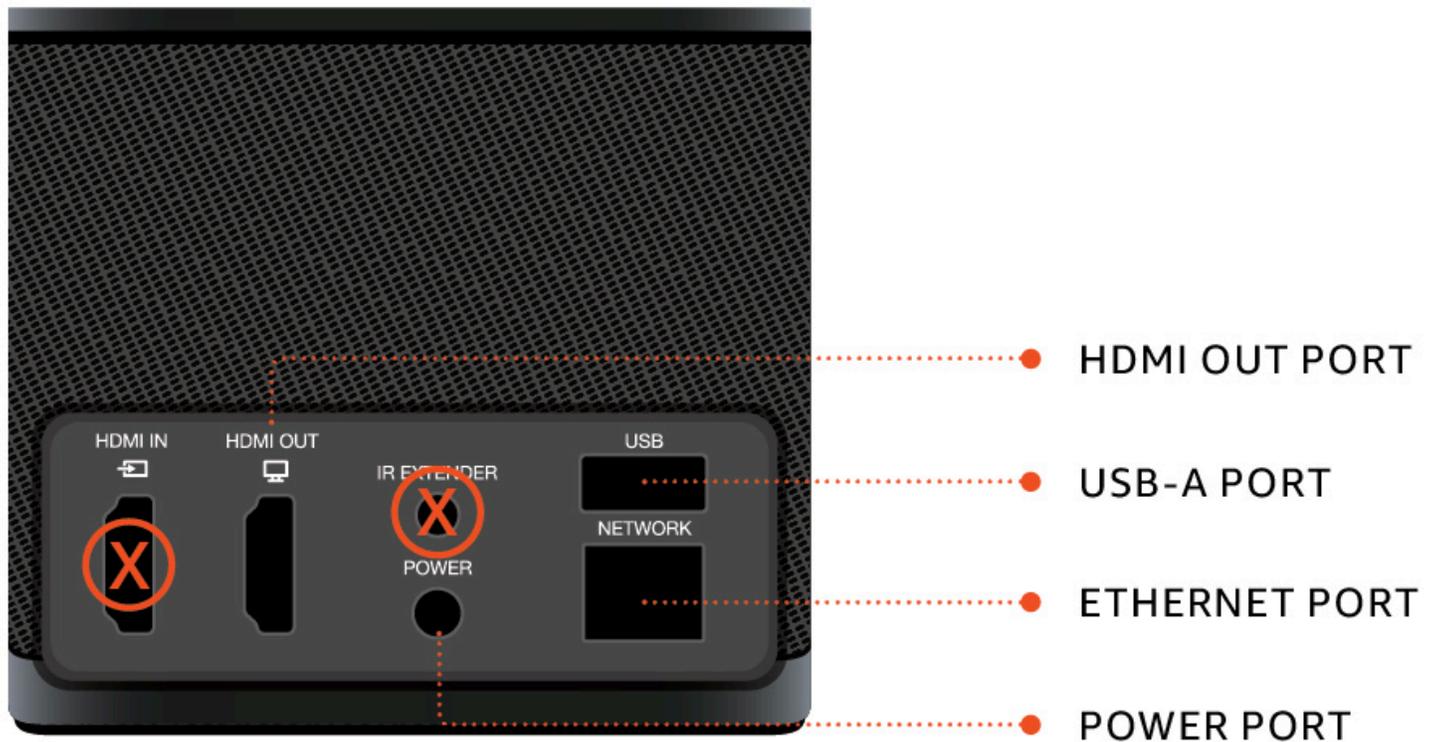
WorkSpaces シンククライアントデバイスの対応

ようこそ！これは WorkSpaces シンククライアントデバイスとその USB ハブです。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの前面

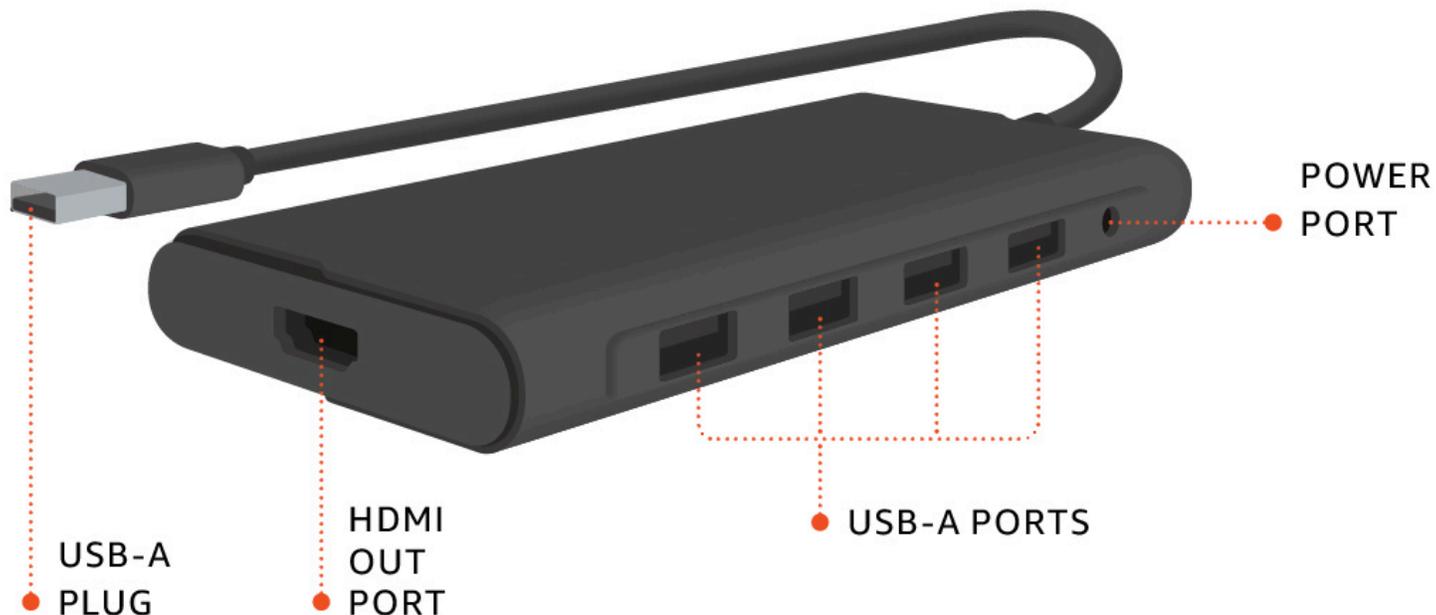


WorkSpaces シンククライアントデバイスのバック



後で、これらのポートを使用して他の周辺機器を接続します。

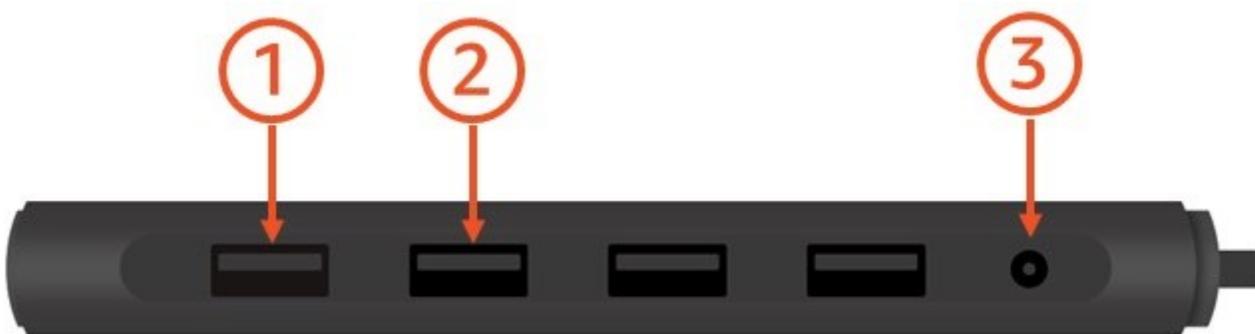
USB ハブ

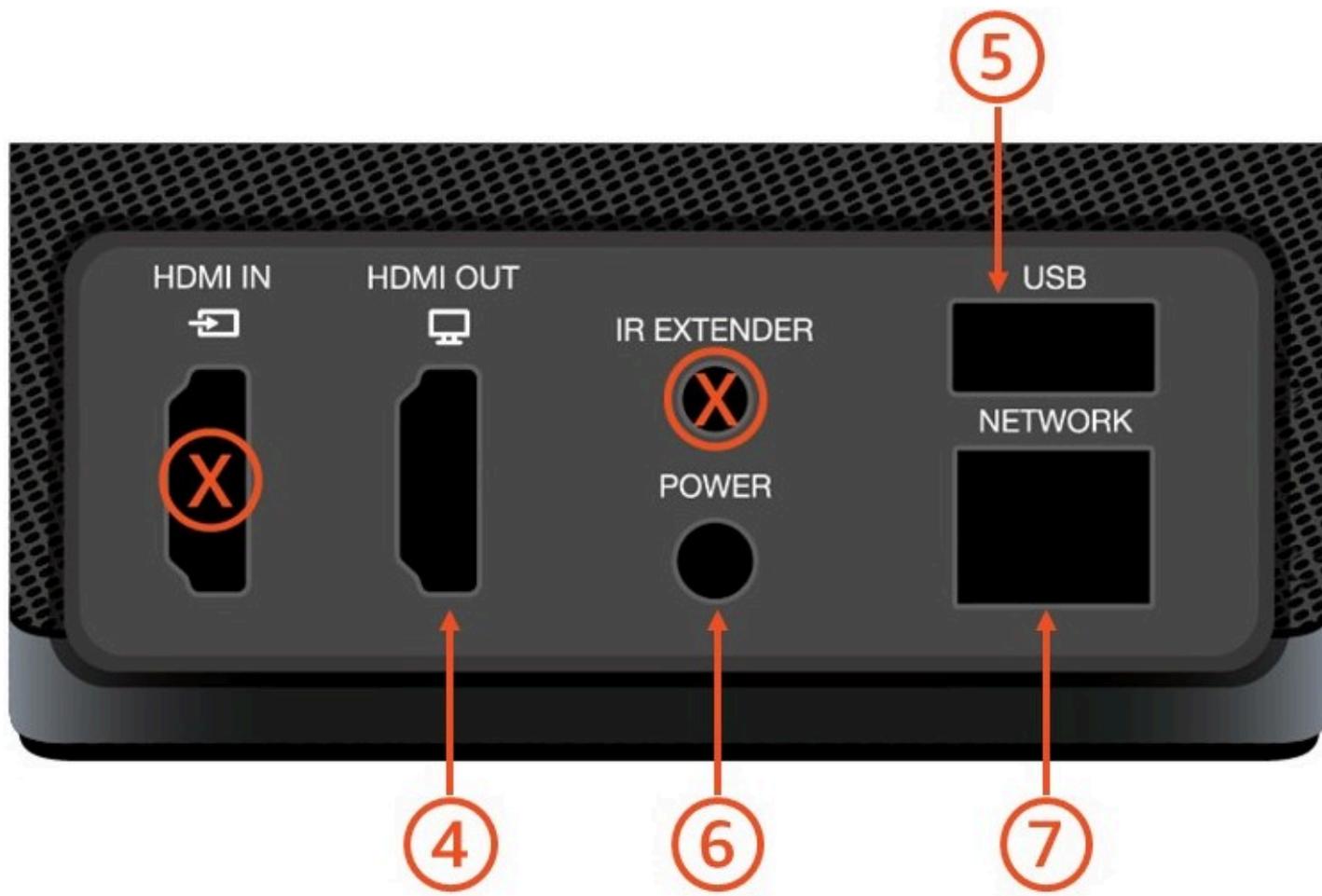


後で、これらのポートを使用して他の周辺機器を接続します。

WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する

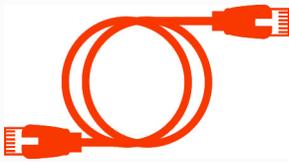
WorkSpaces シンククライアントデバイスを使用するには、キーボード、マウス、モニターが必要です。





番号	デバイス	手順
1		マウスをハブの USB-A ポートに接続します。
2		キーボードをハブの USB-A ポートに接続します。

番号	デバイス	手順
3		ハブの電源アダプターをハブの電源ポートに接続します。
4		モニターの HDMI ポートを HDMI ケーブル (付属していません) で WorkSpaces シンククライアントの HDMI-Out ポートに接続します。
5		ハブの USB-A プラグを WorkSpaces シンククライアントの USB ポートに接続します。
6		WorkSpaces シンククライアント電源アダプターを WorkSpace s シンククライアントの電源ポートに接続します。

番号	デバイス	手順
7		<p>(オプション) イーサネットケーブルに接続します。</p> <div data-bbox="1068 352 1507 856"><p>Note</p><p>ネットワーク接続が必要です。Wi-Fi の代わりに有線イーサネット接続をご希望の場合は、イーサネットケーブル (別売り) をネットワークポートに接続します。</p></div>

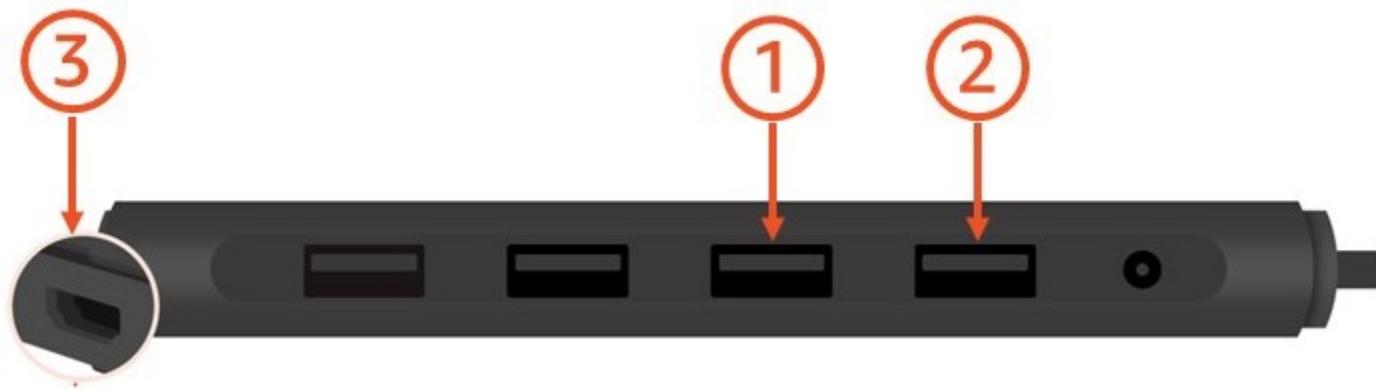
オプションの WorkSpaces シンククライアントデバイスを接続する

WorkSpaces シンククライアントデバイスをヘッドセット、カメラ、または 2 番目のモニターに接続することもできます。

Note

WorkSpaces シンククライアントデバイスの電源が入っている間は、どのバーコードも接続または切断しないでください。WorkSpaces シンククライアントデバイスは欠陥を認識しません。

WorkSpaces シンククライアントデバイスがオンになっているときに薬剤を切断する場合は、デバイスをオフにし、薬剤を再接続してから、デバイスを再度オンにします。



番号	デバイス	手順
1		ヘッドセットをハブの USB-A ポートに接続します。
2		ウェブカメラをハブの USB-A ポートに接続します。
3		2 台目のモニターを USB ハブの端にある HDMI ポートに接続します。2 台目のモニターの HDMI ポートを HDMI ケーブル (別売) でハブの端にある HDMI ポートに接続します。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの準備ができました

すべての周辺機器を接続すると、WorkSpaces シンククライアントをオンにする準備が整います。

1. ハブ電源アダプターを電源コンセントに差し込みます。
2. WorkSpaces シンククライアントの電源アダプタをコンセントに接続します。

Note

Wi-Fi を使用してネットワークに接続する場合は、パスワードを準備します。

これで、WorkSpaces シンククライアントサービスをセットアップする準備ができました。[Amazon WorkSpaces シンククライアントサービスのセットアップ](#) に移動します。

Note

2つのモニターを設定する場合は、プライマリモニターを左側に、セカンダリモニターを右側に配置する必要があります。



Amazon WorkSpaces シンククライアントサービスのセットアップ

WorkSpaces シンククライアントデバイスの準備ができました。初めてオンにできるようになりました。

WorkSpaces シンククライアントデバイスを初めてオンにする場合は、基本的なプロセスに従って新しいデバイスをサービスに接続できます。

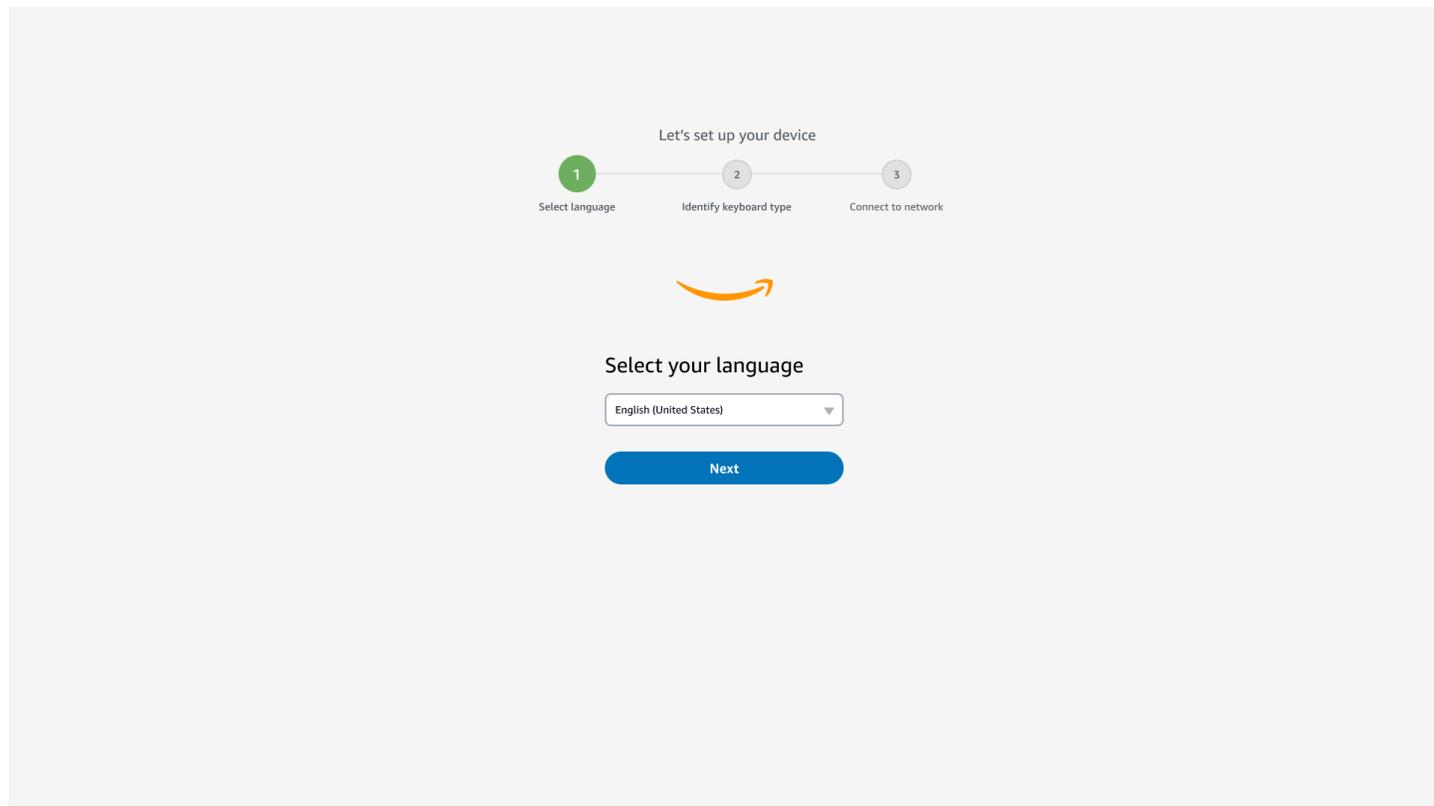
WorkSpaces シンククライアントデバイスがこのプロセスをガイドします。

トピック

- [言語を選択してください。](#)
- [キーボードタイプを特定します。](#)
- [ローカルネットワークへの接続](#)
- [アクティベーションコードを入力する](#)
- [AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにサインインする](#)

言語を選択してください。

WorkSpaces シンククライアントデバイスで使用する言語を選択します。

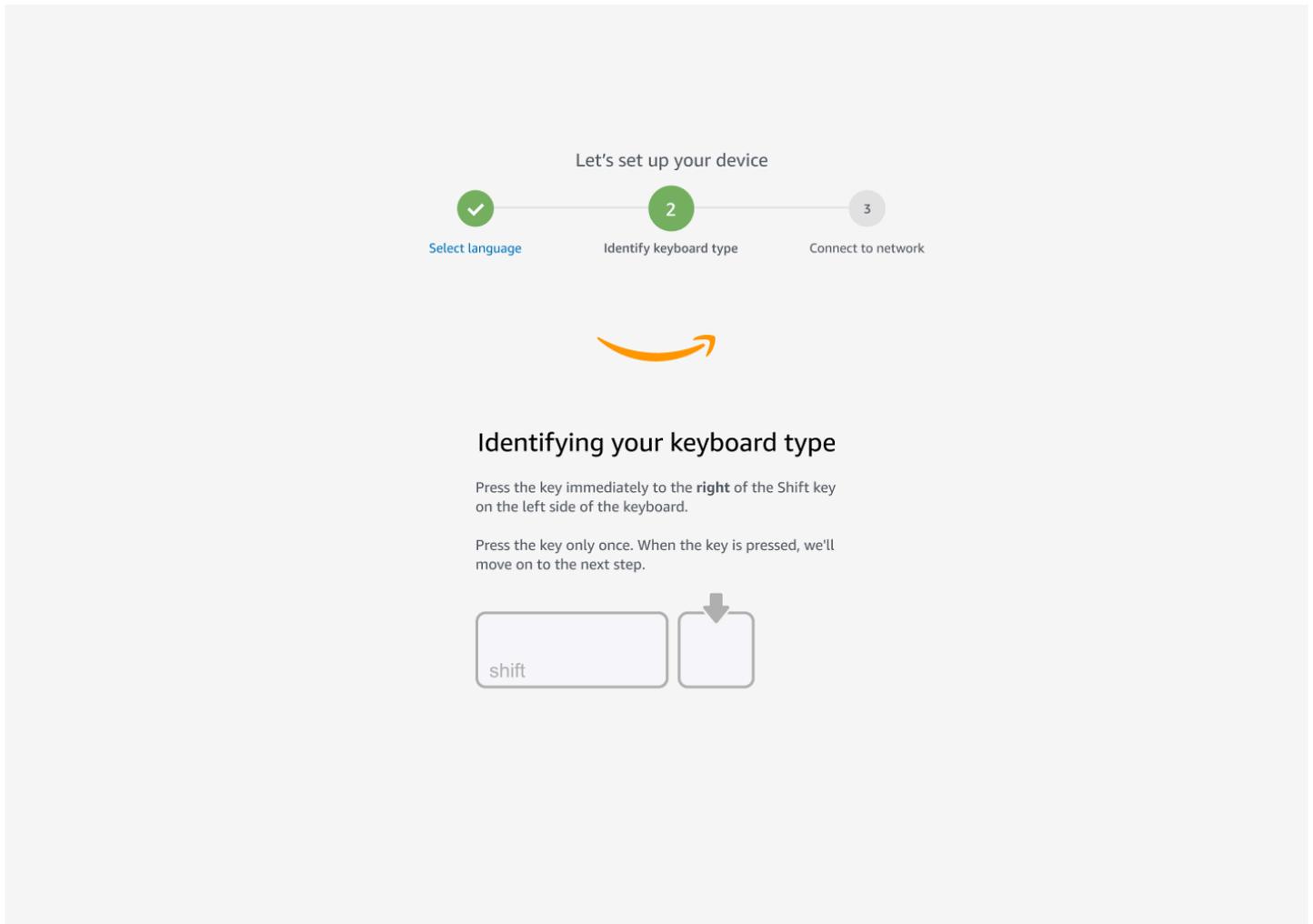


マウスを使用して言語を選択できます。

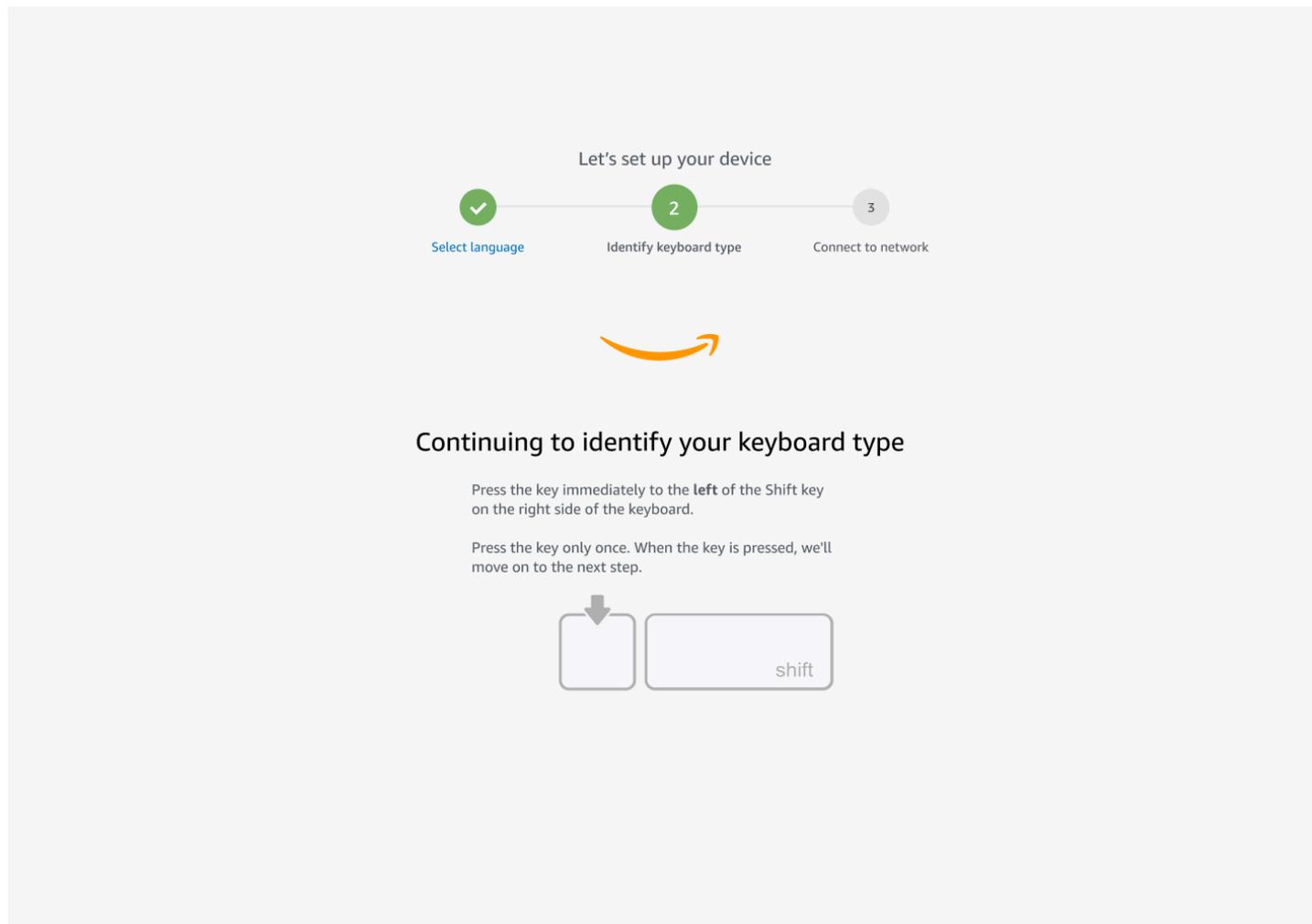
キーボードタイプを特定します。

次に、WorkSpaces シンククライアントデバイスにキーボードを識別するように指示します。

まず、キーボードの左側にあるキーのすぐ右にあるShiftキーを押したままにします。



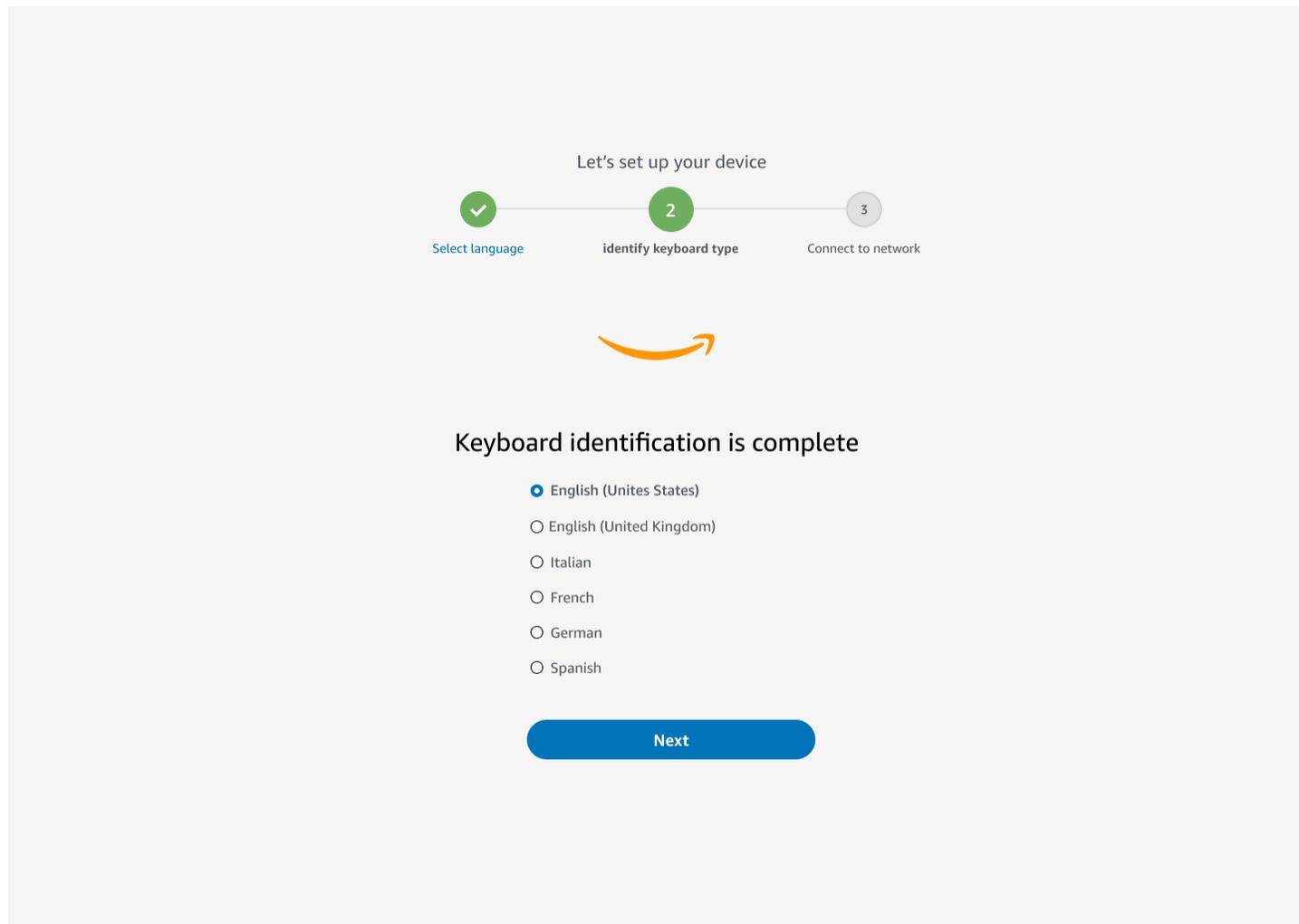
次に、キーボードの右側にあるキーのすぐ左にあるShiftキーを押したままにします。



素晴らしい！キーボードが識別されました。

次に、使用しているキーボードのタイプを WorkSpaces シンククライアントデバイスに指示します。
キーボードレイアウトを選択します。

キーボードレイアウトを確認するには、[「キーボードレイアウト」の「互換性のある各キーボードの例」](#)を参照してください。

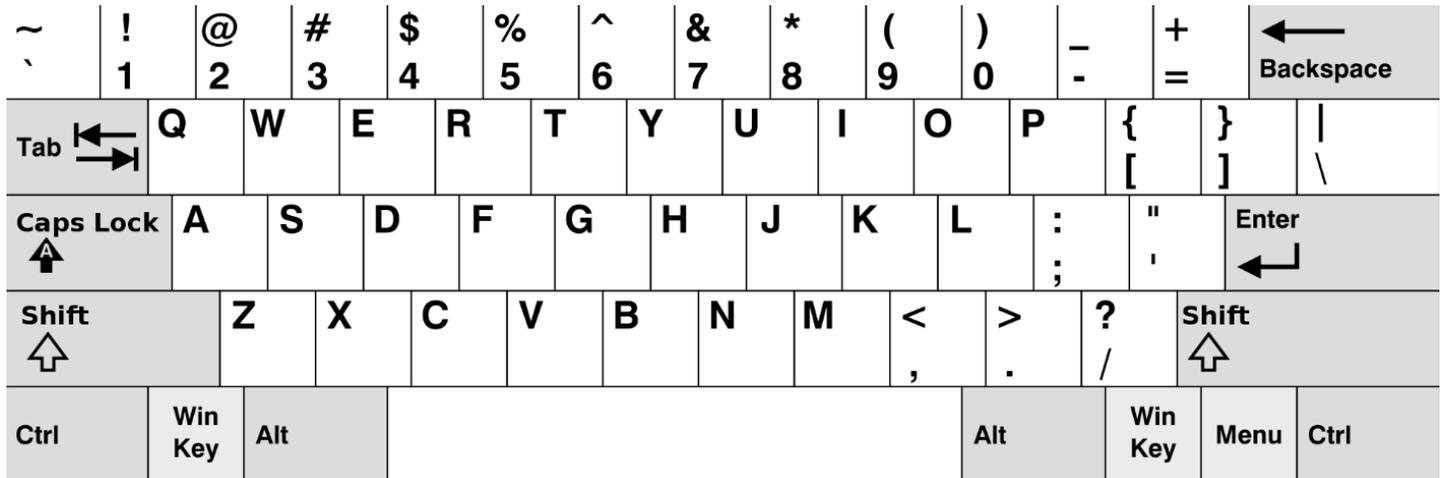


キーボードレイアウト

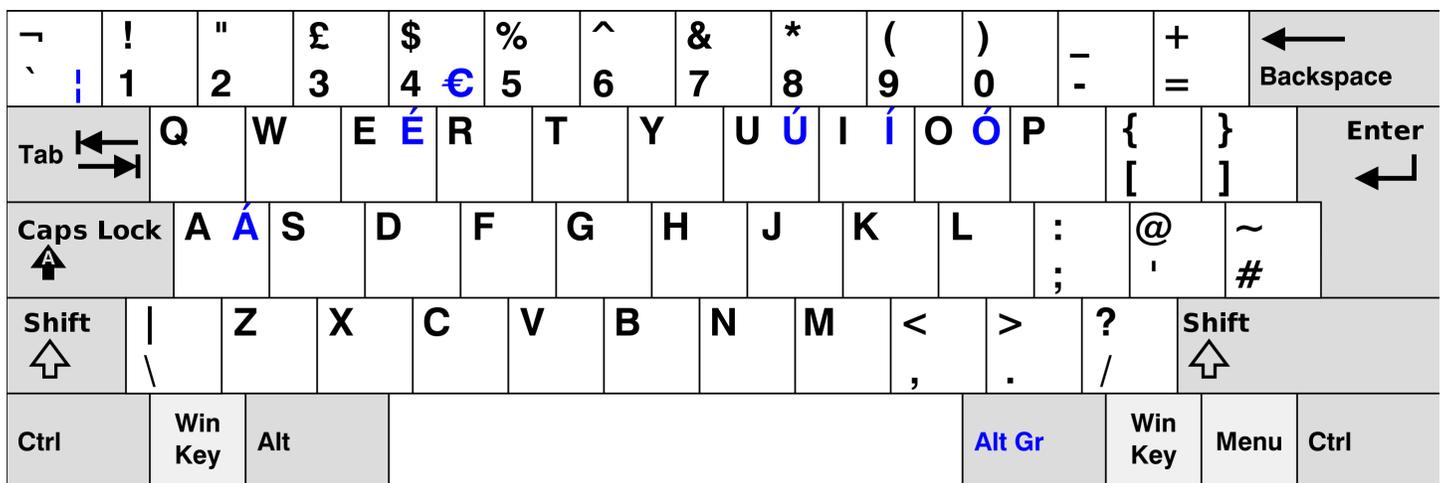
WorkSpaces シンククライアントは、英語 (米国)、英語 (英国)、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語のキーボードレイアウトをサポートしています。

WorkSpaces シンククライアントはAltGr、英語 (英国)、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語の および dead keyキーボードレイアウトをサポートしています。

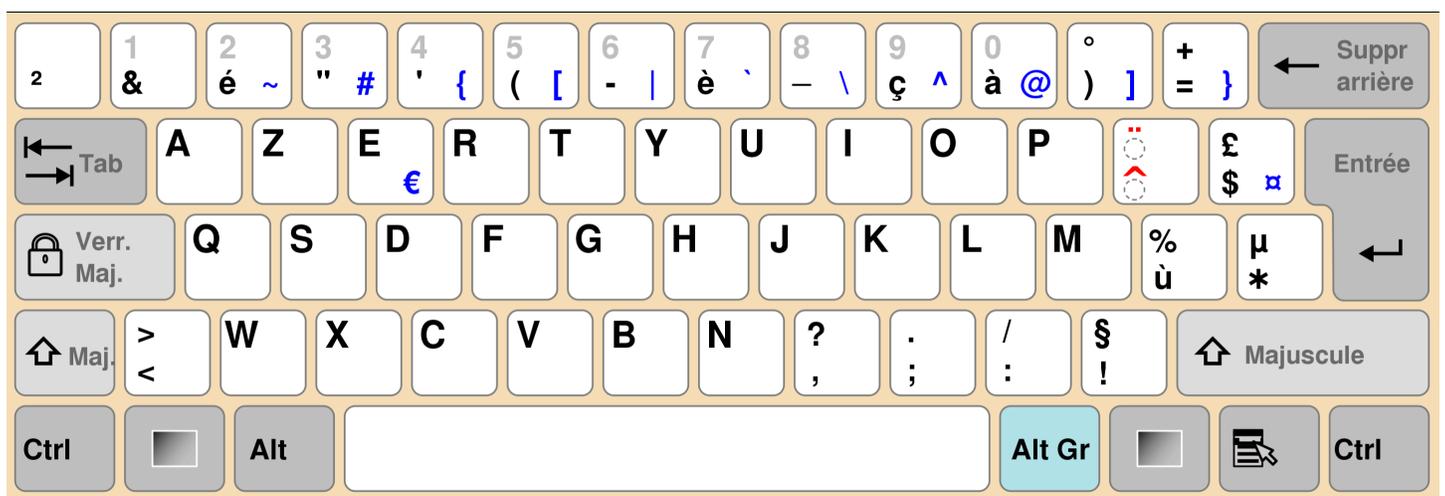
英語 (米国) キーボードレイアウト



英語 (英国) キーボードレイアウト



フランス語キーボードレイアウト



ドイツ語キーボードレイアウト

° ^	!	"	§ 3	\$ 4	% 5	& 6	/	(8) 9	=	? 0	´ 	←
↔	Q @	W	E €	R	T	Z	U	I	O	P	Ü	* + ~	↵
⇩	A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ö	Ä	' #	↵
⇧	> <	Y 	X	C	V	B	N	M µ	;	:	-	⇧	
Strg	(Win)	Alt							Alt Gr	(Win)	(Menu)	Strg	

スペイン語キーボードレイアウト

a o	!	"	.	\$	%	&	/	(8) 9	=	? 0	¿ i	← Backspace
Tab ↔	Q 	W @	E #	R €	T	Y	U	I	O	P	´ [* +]	↵ Enter
Caps Lock ⇧	A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ñ	¨ {	Ç }	
Shift ⇧	> <	Z	X	C	V	B	N	M	;	:	-	Shift ⇧	
Ctrl	Win Key	Alt							Alt Gr	Win Key	Menu	Ctrl	

イタリア語キーボードレイアウト

 \	!	"	£	\$	% €	&	/	(8) 9	=	? 0	´ i	← Backspace
Tab ↔	Q	W	E €	R	T	Y	U	I	O	P	é è	* + }	↵ Enter
Caps Lock ⇧	A	S	D	F	G	H	J	K	L	ç	° @	§ à # ù	
Shift ⇧	> <	Z	X	C	V	B	N	M	;	:	-	Shift ⇧	
Ctrl	Win Key	Alt							Alt Gr	Win Key	Menu	Ctrl	

ローカルネットワークへの接続

WorkSpaces シンククライアントデバイスをネットワークに接続できるようになりました。

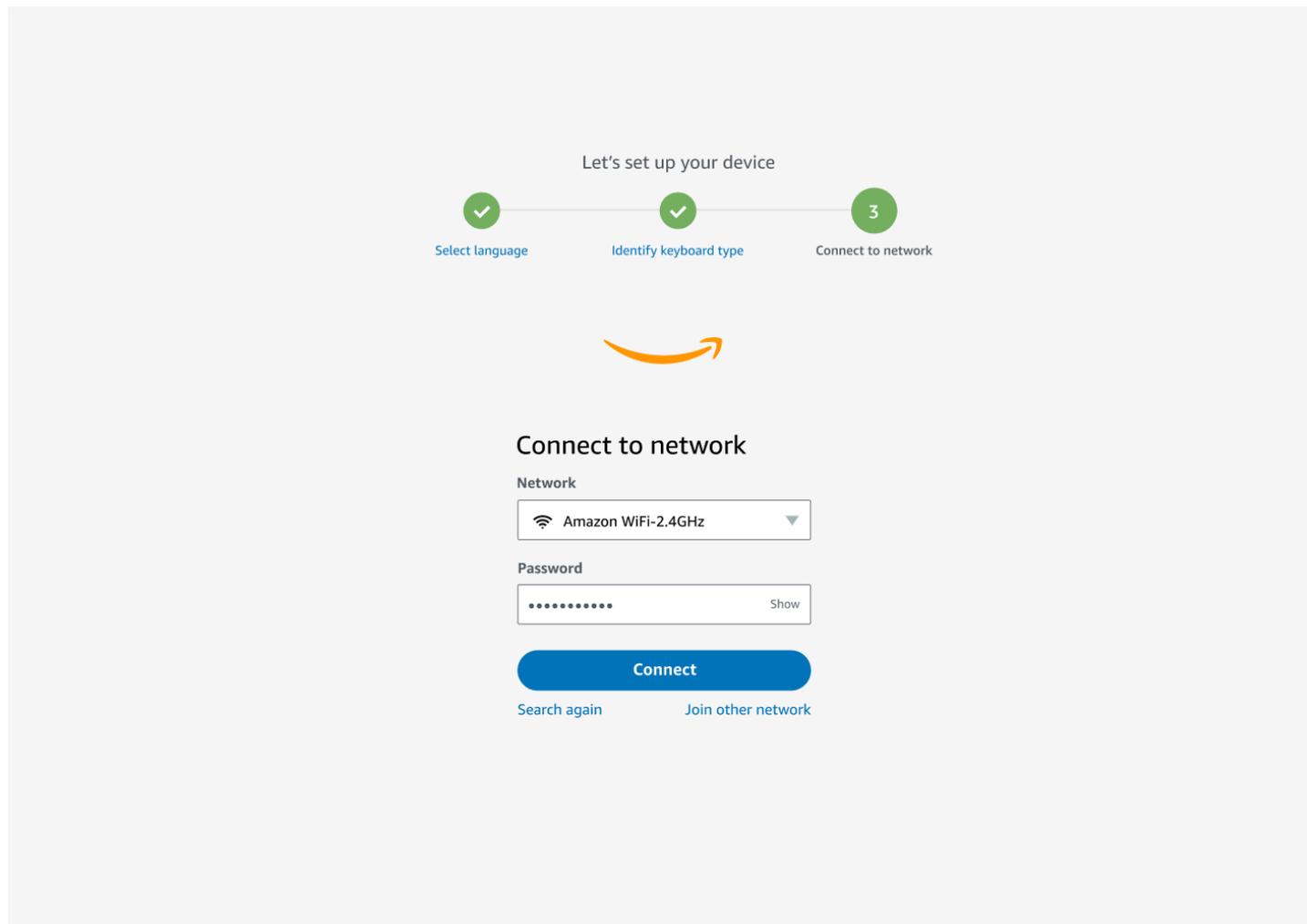
イーサネット接続を使用している場合、WorkSpaces シンククライアントデバイスはネットワークに自動的に接続します。これ以上、何もする必要はありません。

WorkSpaces シンククライアントデバイスがイーサネット経由で接続されていない場合、デバイスは利用可能なワイヤレスネットワークをスキャンし、ネットワークドロップダウンリストに表示されます。このドロップダウンリストからネットワークを選択します。

Note

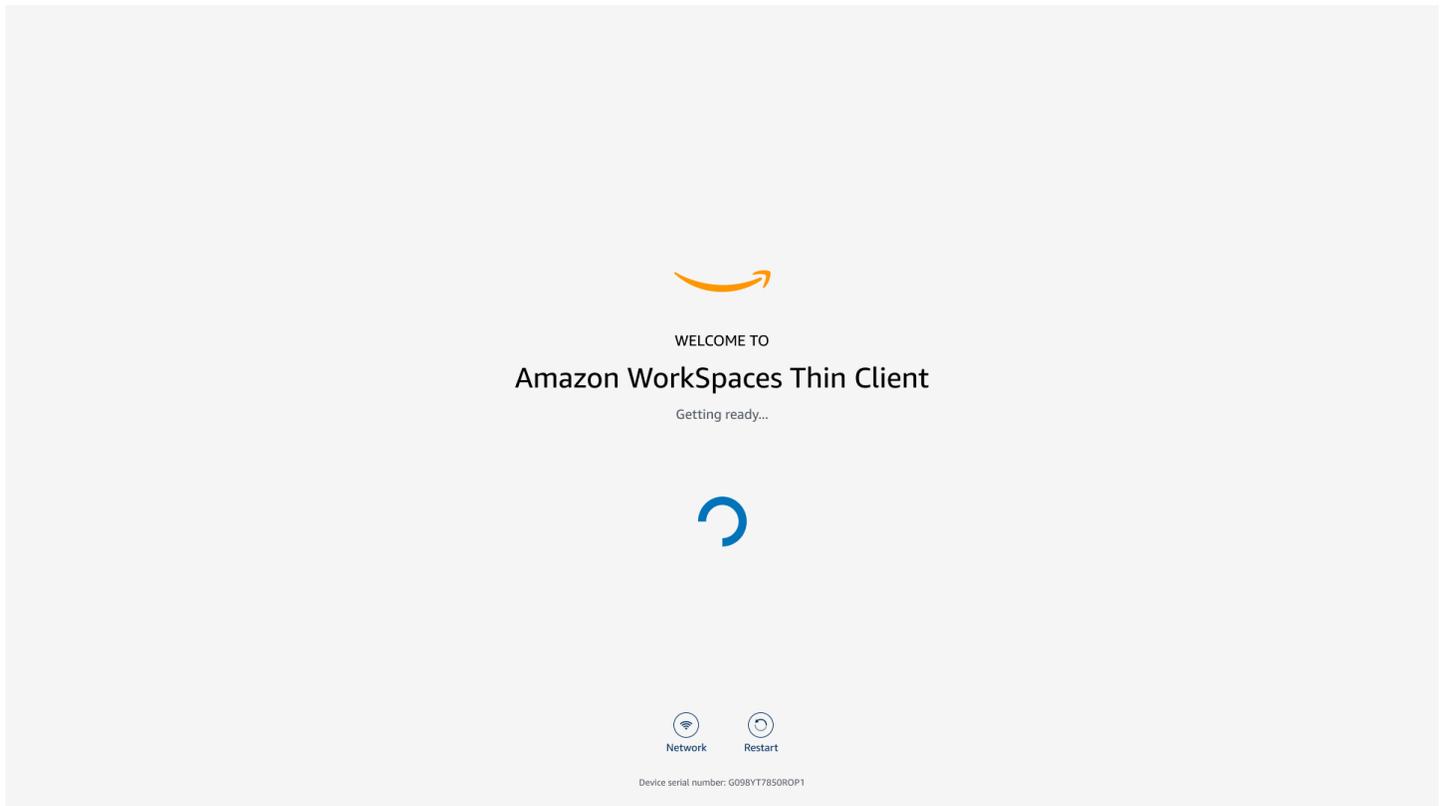
アクティブにできるネットワーク接続タイプは 1 つだけです。イーサネット接続を使用している場合、ワイヤレスネットワーク接続は使用できません。

[パスワード] フィールドにネットワークパスワードを入力します。

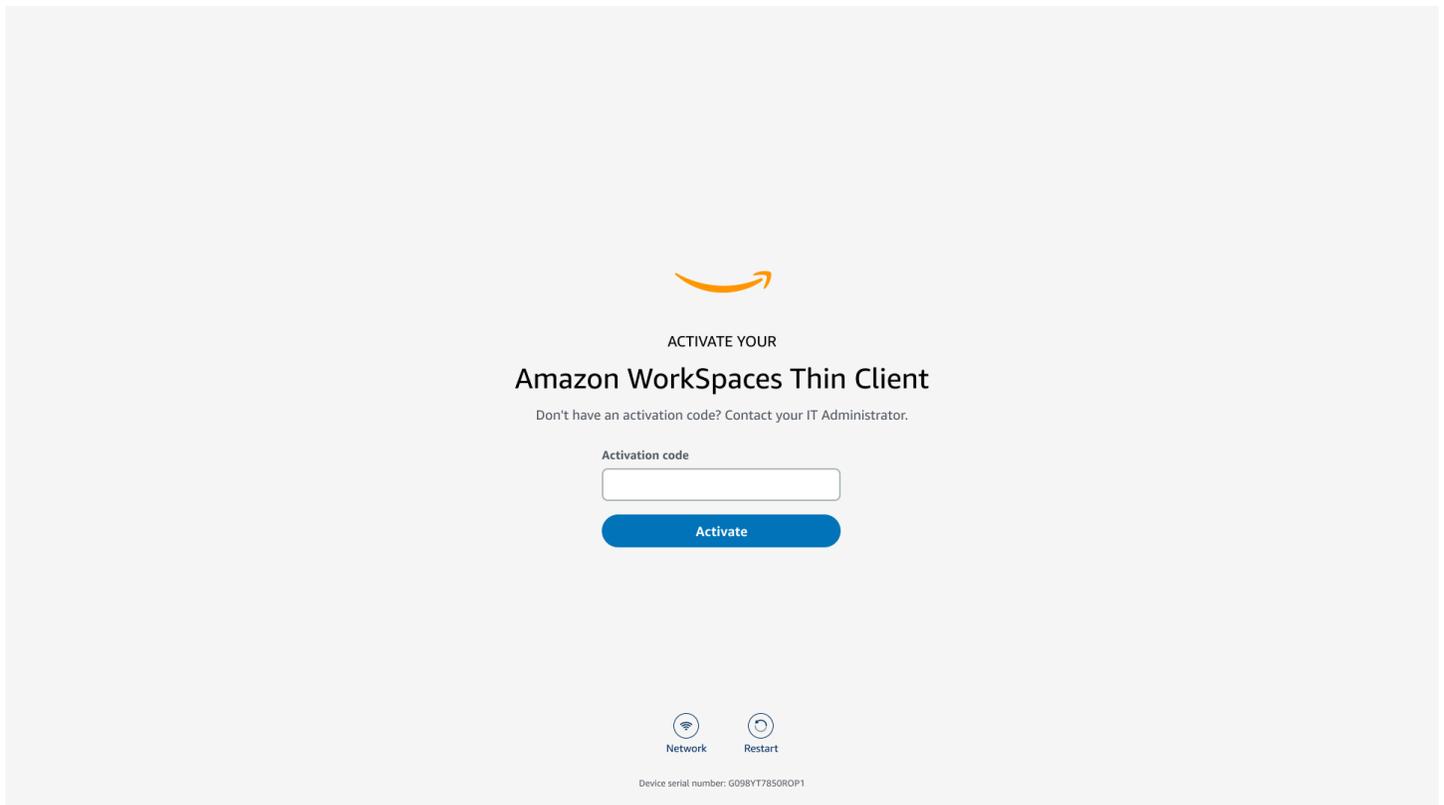


アクティベーションコードを入力する

これで、WorkSpaces シンククライアントデバイスがネットワークに接続されました。これで、管理者が設定した AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにデバイスを接続できます。



管理者から提供されたアクティベーションコードを入力します。



Note

アクティベーションコードは、管理者がデバイス専用の環境を作成するときに生成されます。詳細については、WorkSpaces シンククライアント管理者ガイドの「[環境の作成](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにサインインする

管理者によって確立された AWS エンドユーザーコンピューティングサービスにサインインします。

Support English ▾

amazon WorkSpaces

Fully managed remote desktop service

© 2008 - 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

Sign in
Sign in to access your WorkSpaces

Sign in

[Change registration code](#)

aws Privacy | Site terms | Cookie preferences

Note

イメージには WorkSpaces (ウェブアクセス) が表示されます。サービスは、WorkSpaces (ウェブアクセス)、AppStream 2.0、または WorkSpaces Secure Browser のいずれかです。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの使用

WorkSpaces シンククライアントデバイスをセットアップして登録したら、それを使用する準備が整います。

Amazon WorkSpaces シンククライアントは、AWS エンドユーザーコンピューティング (EUC) 仮想デスクトップで動作するように構築されており、多数の[周辺機器と互換性があります](#)。

トピック

- [ツールバーの使用](#)
- [仮想サービスプロバイダーインターフェイスの使用](#)
- [マイクとウェブカメラを有効にする](#)
- [WorkSpaces シンククライアントでのサウンド設定の変更](#)
- [ディスプレイ解像度の管理](#)
- [画面キャプチャの実行](#)
- [WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動](#)
- [スリープモードの設定](#)
- [ネットワークの管理](#)
- [ソフトウェア更新の延期](#)

ツールバーの使用

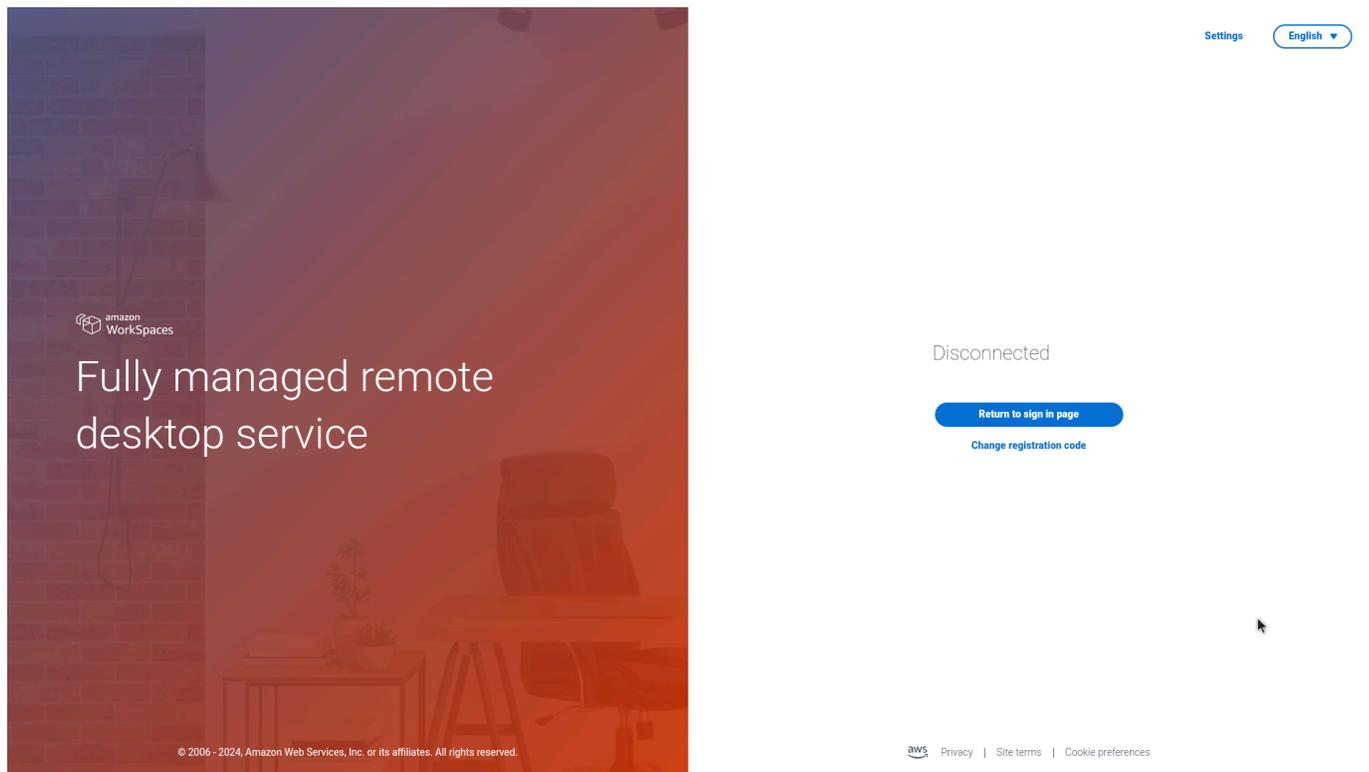
ディスプレイ上のツールバーから WorkSpaces シンククライアントデバイス機能のすべてにアクセスできます。このツールバーから、WorkSpaces シンククライアントデバイスの基本設定を制御できます。

ツールバーは折りたたまれた形式で、ダークバーとして表されるディスプレイの右側にあります。

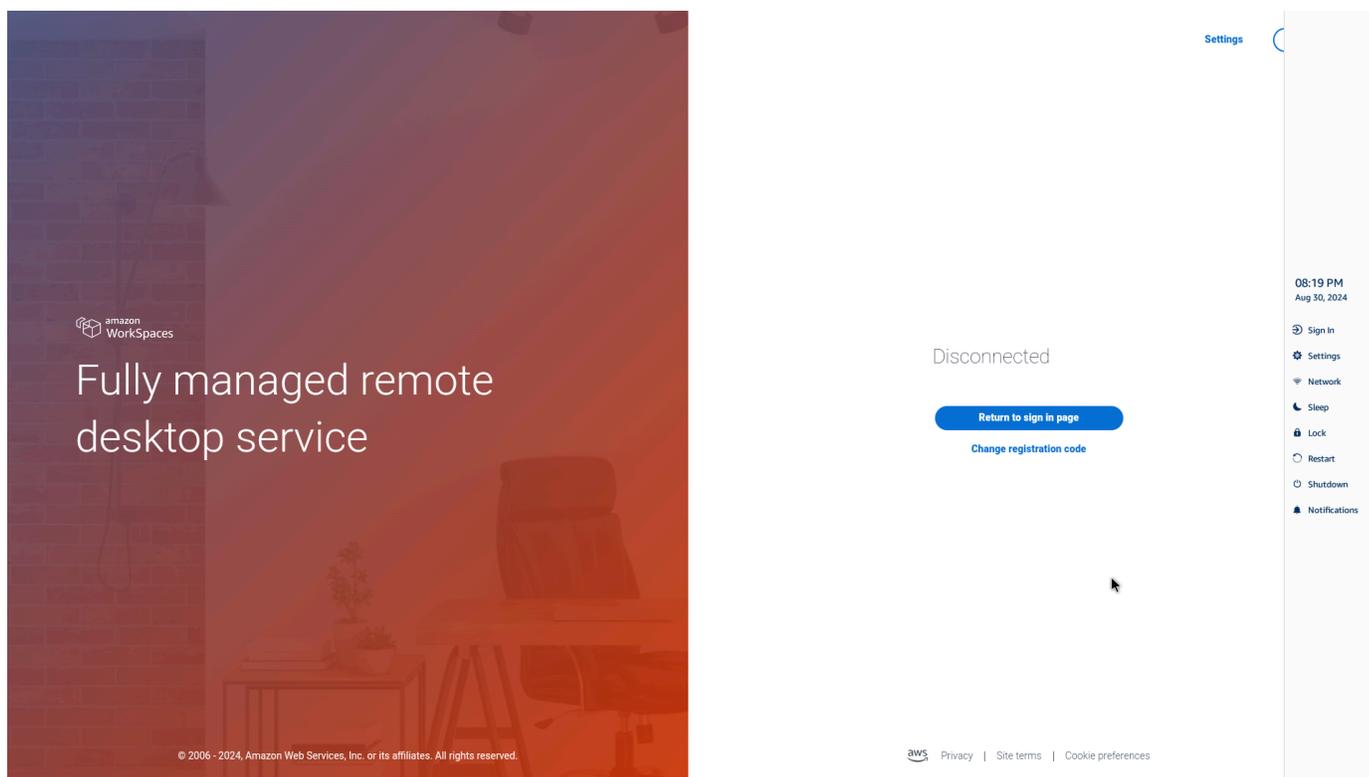
ツールバーへのアクセス

ツールバー関数にアクセスするには、ツールバー関数を展開する必要があります。展開されると、使用可能な関数が表示されます。ツールバーの使用が完了すると、ツールバーは折りたたまれます。

1. ディスプレイの右側にあるダークバーを選択します。



2. 使用する関数を選択します。関数のリストについては、[「ツールバー関数」](#)を参照してください。
3. ツールバーを折りたたむには、プライマリディスプレイの任意の領域を選択します。



ツールバー関数

ツールバーを展開すると、関数のリストを使用できます。これらはシン WorkSpaces クライアントデバイスの基本設定です。

Button	機能	説明
 Disconnect	サインイン/切断	<p>サインインを選択すると、仮想デスクトップセッションのサインインページに移動します。セッションを開始するには、仮想デスクトップセッションのユーザー名とパスワードを入力する必要があります。</p> <p>を使用している場合 WorkSpaces、この関数は切断に変わります。Disconnect を選択すると、仮想デスクトップセッションからサインアウトされます。</p> <p>AppStream 2.0 または WorkSpaces Secure Browser を使用している場合、この関数はツールバーから削除されます。仮想デスクトップ内の切断関数を使用してセッションからサインアウトする</p>
 Settings	設定	<p>デバイスの設定にアクセスします。</p> <p>設定は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要 言語

Button	機能	説明
		<ul style="list-style-type: none">ネットワーク通知周辺機器電源とスリープTime zone (タイムゾーン)
 Network	ネットワーク	デバイスのネットワーク設定にアクセスします。詳細については、 「ネットワークの管理」 を参照してください。
 Sleep	Sleep	デバイスをスリープモードにします。詳細については、 「スリープモードの設定」 を参照してください。
 Lock	Lock	現在のセッションを終了し、ロックページに移動します。ロックしたら、ロック解除を選択してサインインページにアクセスできます。
 Restart	Restart	デバイスを再起動します。詳細については、 「ツールバーを使用した再起動」 を参照してください。
 Shutdown	シャットダウン	セッションからログアウトし、デバイスをシャットダウンします。
 Notifications	通知	デバイスの通知にアクセスします。

仮想サービスプロバイダーインターフェイスの使用

WorkSpaces シンククライアントは、DCVウェブブラウザ内で実行される Amazon ウェブクライアントを使用するため、インストールは必要ありません。

Amazon の詳細についてはDCV、[「Amazon の使用DCV」](#)を参照してください。

Amazon WorkSpaces シンククライアントは、多数の仮想デスクトップと連携して、完全なクラウドデスクトップソリューションを提供します。それぞれVDIに、使用する独自のインターフェイスまたはツールバーがあります。

これらの各インターフェイスの詳細については、以下を参照してください。

- Amazon については、[WorkSpaces 「ウェブアクセス WorkSpaces 」](#)を参照してください。
- AppStream 2.0 については、[「ウェブブラウザアクセス」](#)を参照してください。
- Amazon WorkSpaces Secure Browser [については、「ツールバーを使用する」](#)を参照してください。

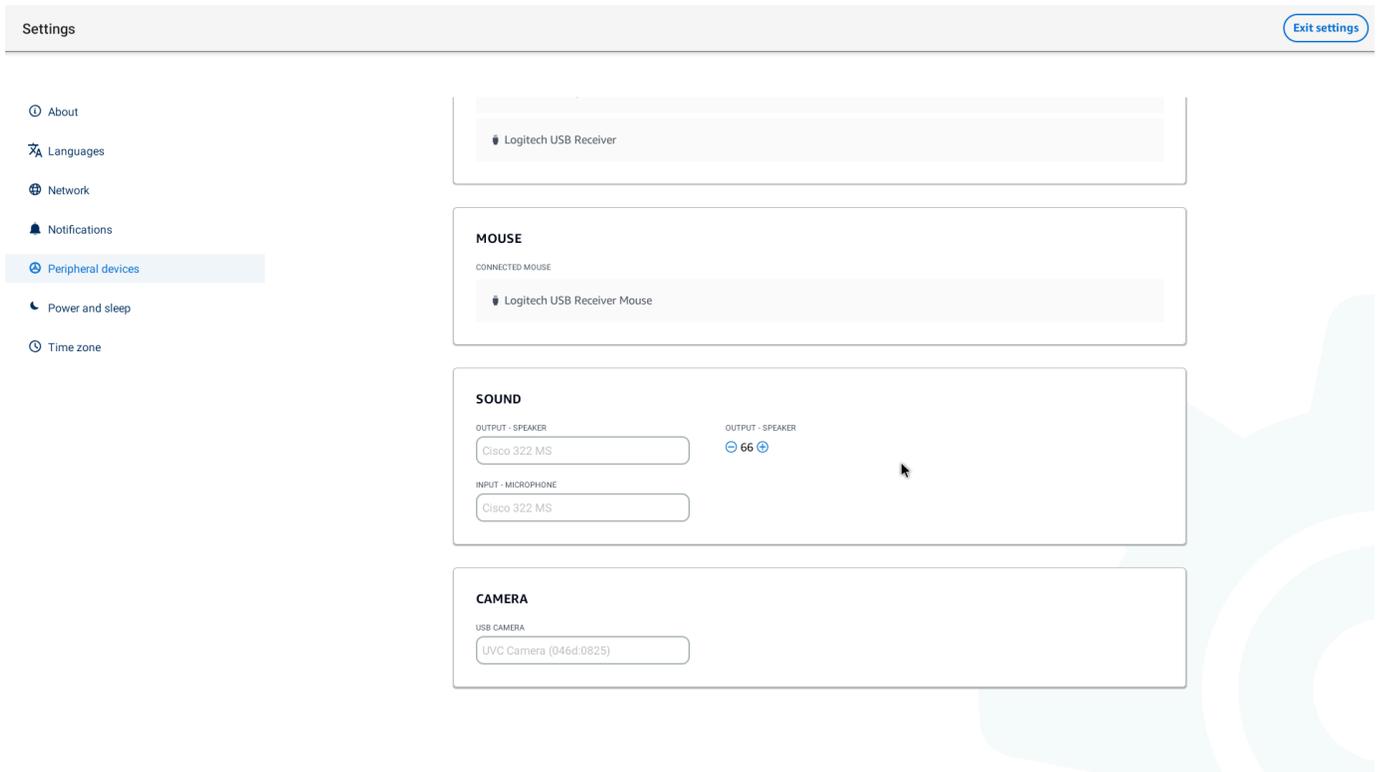
マイクとウェブカメラを有効にする

WorkSpaces シンククライアントデバイスは、オーディオデバイスとビジュアルデバイスに接続できます。仮想デスクトップセッション内でマイクとウェブカメラを使用するには、Windows 設定、仮想デスクトップツールバー、ブラウザ設定でアクセス許可を有効にする必要があります。

WorkSpaces シンククライアントは、[「周辺機器」](#)セクションに記載されているウェブカメラとヘッドセットと互換性があります。

ウェブカメラとマイクが WorkSpaces シンククライアントに正しく接続されていることを確認します。

1. 設定 に移動します。
2. 周辺機器 を選択します。
3. ウェブカメラとマイクが一覧表示されていることを確認します。

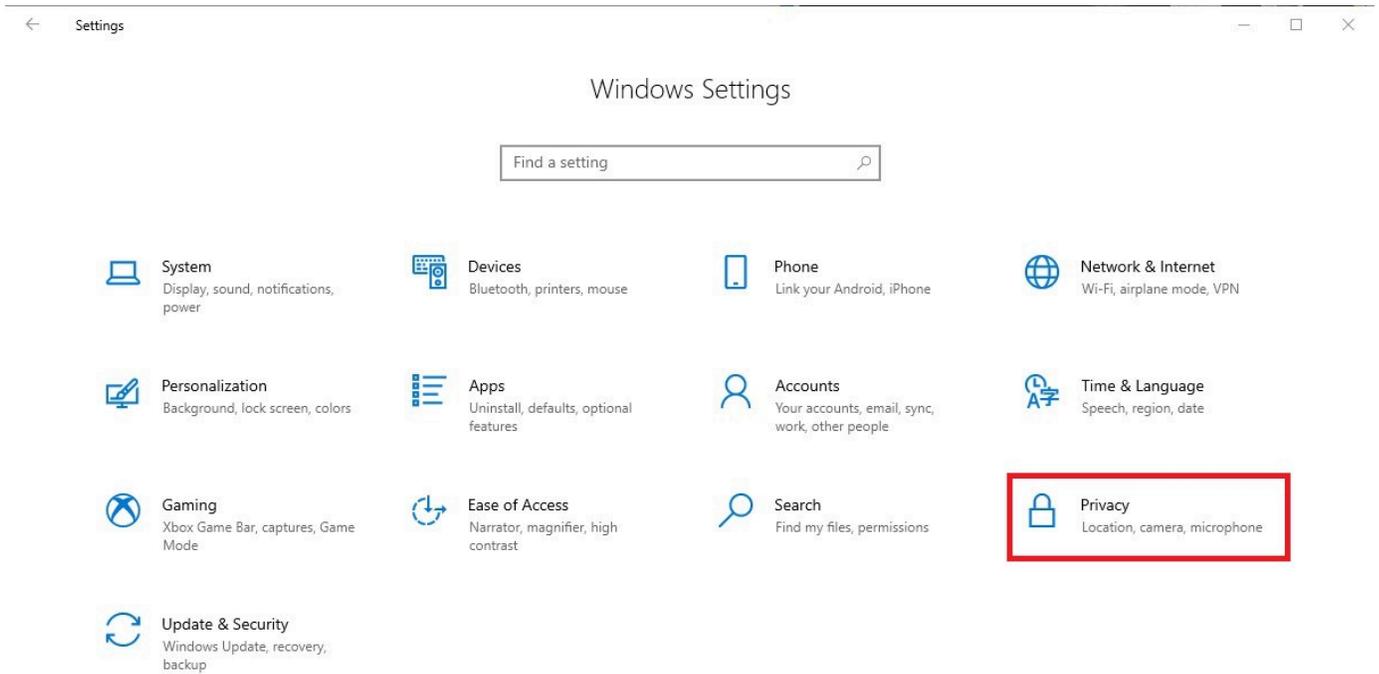


4. マイクとウェブカメラが有効になっていることを確認しますVDI。VDI 使用している内容に応じて、次のいずれかを実行します。
- Windows の場合は、[Windows でアクセス許可の有効化](#)を使用します。
 - Amazon の場合は WorkSpaces、[Amazon でアクセス許可を有効にする WorkSpaces](#)を使用します。
 - AppStream 2.0 または Amazon WorkSpaces Secure Browser の場合は、[AppStream 2.0 および Amazon WorkSpaces Secure Browser で許可を有効にする](#)を使用します。

でマイクとウェブカメラのアクセス許可を有効にする VDI

Windows でのアクセス許可の有効化

1. 設定アイコンを選択します。
2. 設定メニューからプライバシーアイコンを選択します。



3. 次のいずれかを行います。

- 左側のリストから [カメラ] を選択し、[アプリにカメラへのアクセスを許可する] を [オン] に変更します。

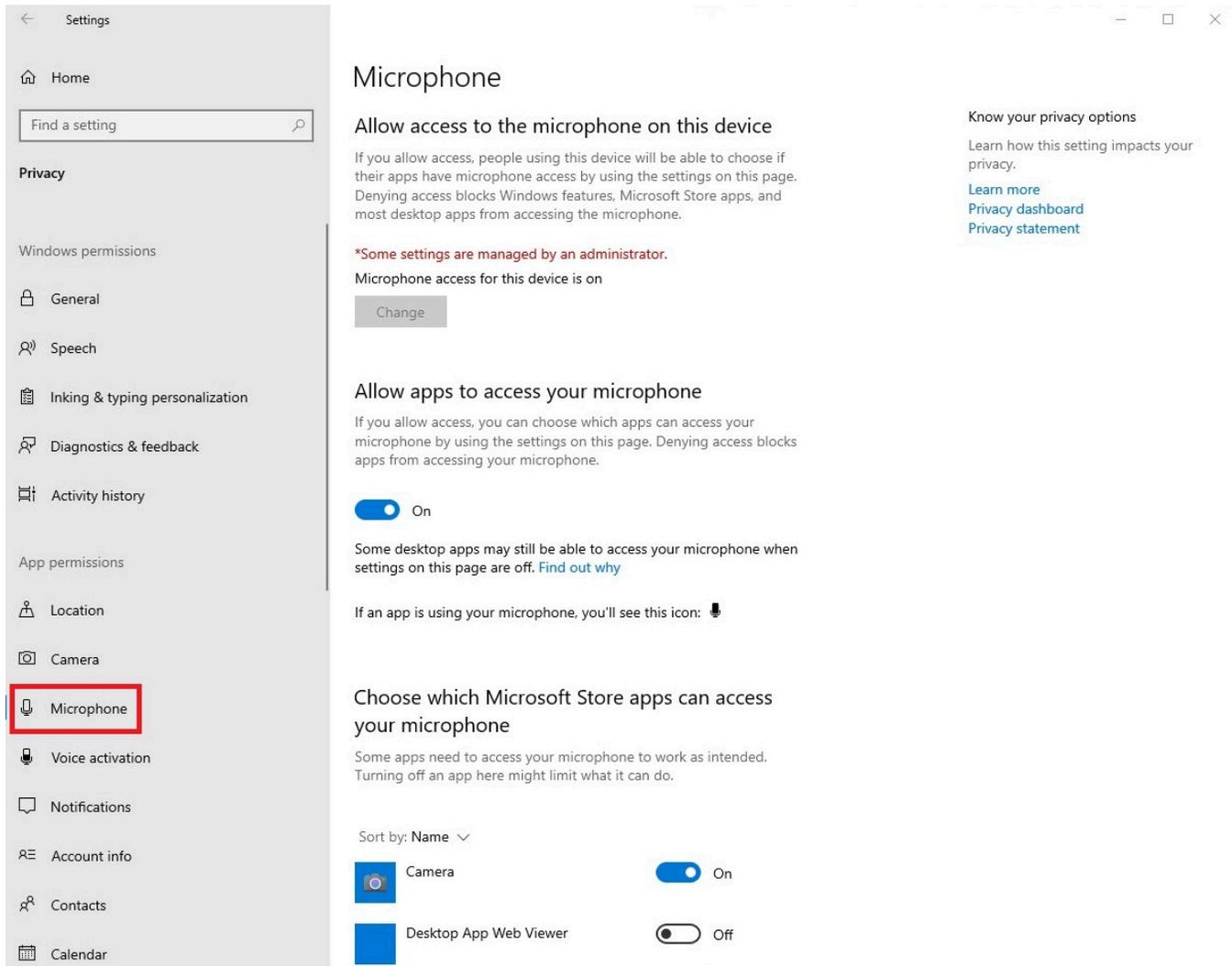
The screenshot shows the Windows Settings application. On the left, the 'Camera' option is highlighted with a red box. The main content area is titled 'Camera' and contains the following sections:

- Allow access to the camera on this device**: A toggle switch is currently turned off. Text below explains that allowing access lets users choose if apps have camera access. A note states: **Some settings are managed by an administrator.* A 'Change' button is visible.
- Allow apps to access your camera**: A toggle switch is turned on. Text explains that users can choose which apps can access the camera. A note states: *Some desktop apps may still be able to access your camera when settings on this page are off. Find out why*
- Choose which Microsoft Store apps can access your camera**: A list of apps with their camera access status:

App	Status
Camera	On
Desktop App Web Viewer	Off
HP Smart	On

On the right side, there is a 'Know your privacy options' section with links for 'Learn more', 'Privacy dashboard', and 'Privacy statement'.

- 左側のリストから [マイク] を選択し、[アプリにカメラへのアクセスを許可する] を [オン] に変更します。



Windows でアクセス許可を有効にしたら、ウェブブラウザからアクセス許可を有効にする必要があります。[ウェブブラウザのアクセス許可の有効化](#)を参照してください。

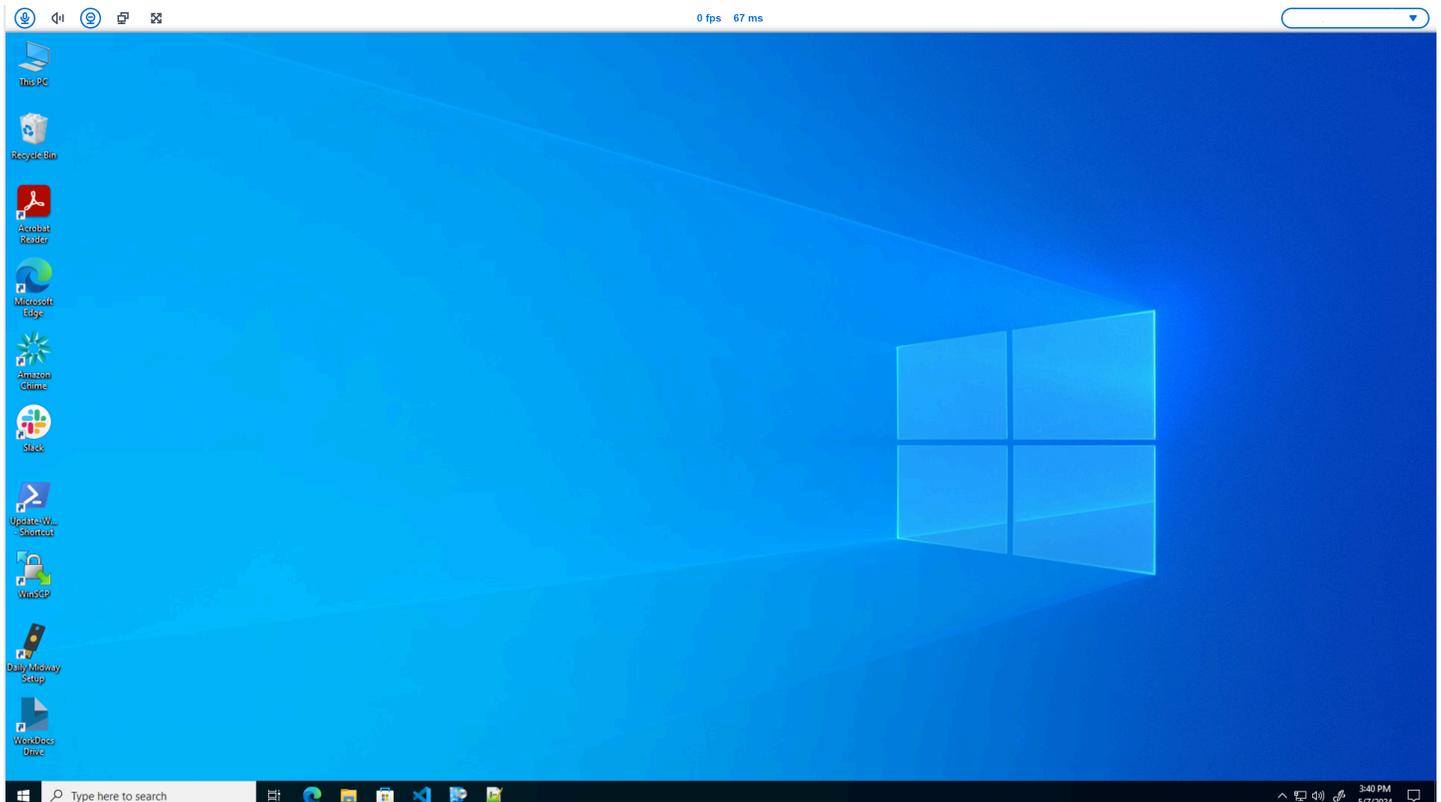
Amazon でのアクセス許可の有効化 WorkSpaces

ウェブカメラとマイクのアクセス許可は、WorkSpaces シンククライアントで使用するために自動的に有効になります。

仮想デスクトップツールバーには、マイクとウェブカメラのステータスが表示されます。

WorkSpaces シンククライアントは、「[周辺機器](#)」セクションに記載されているウェブカメラとヘッドセットと互換性があります。

ウェブカメラとマイクが WorkSpaces シンククライアントに正しく接続されていることを確認します。



Microphone と Webcam のアイコンは、そのステータスを示します。

アイコン	ステータス	
	カメラがオンになっていません。	
	カメラはオンになっていますが、ストリーミングされていません。	
	カメラはオンでストリーミングされています。	
	マイクがオンになっていません。	

アイコン	ステータス	
	マイクがオンになっています。	

Amazon で周辺機器が有効になっていることを確認したら WorkSpaces、ウェブブラウザから周辺機器を有効にする必要があります。[ウェブブラウザでのアクセス許可の有効化](#)を参照してください。

AppStream 2.0 および Amazon WorkSpaces Secure Browser でのアクセス許可の有効化

WorkSpaces シンククライアントデバイスは、オーディオデバイスとビジュアルデバイスに接続できません。仮想デスクトップセッション内でマイクとウェブカメラを使用するには、Windows 設定、仮想デスクトップツールバー、ブラウザ設定でアクセス許可を有効にする必要があります。

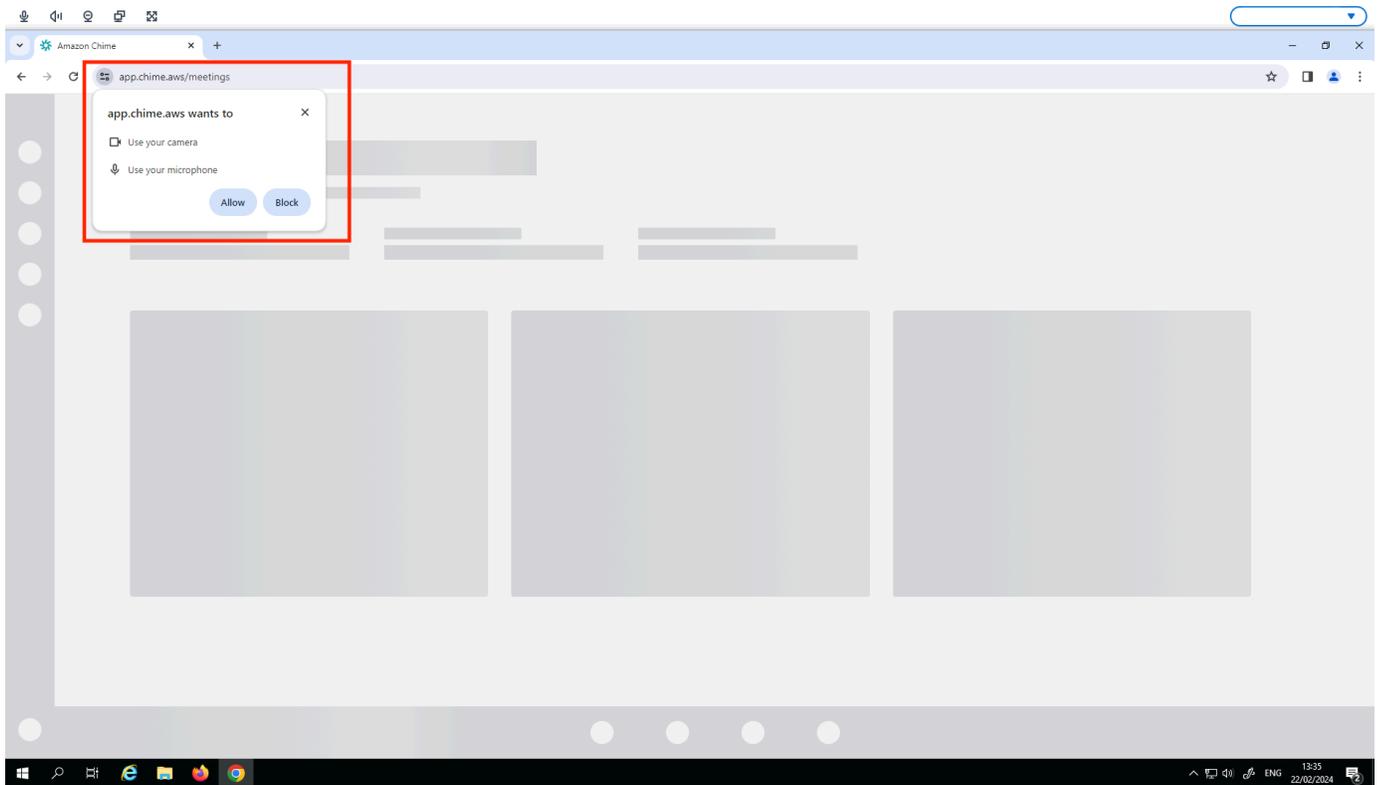
ウェブカメラとマイクが WorkSpaces シンククライアントに正しく接続されていることを確認します。

1. 設定 に移動します。
2. 周辺機器 を選択します。
3. ウェブカメラとマイクが一覧表示されていることを確認します。

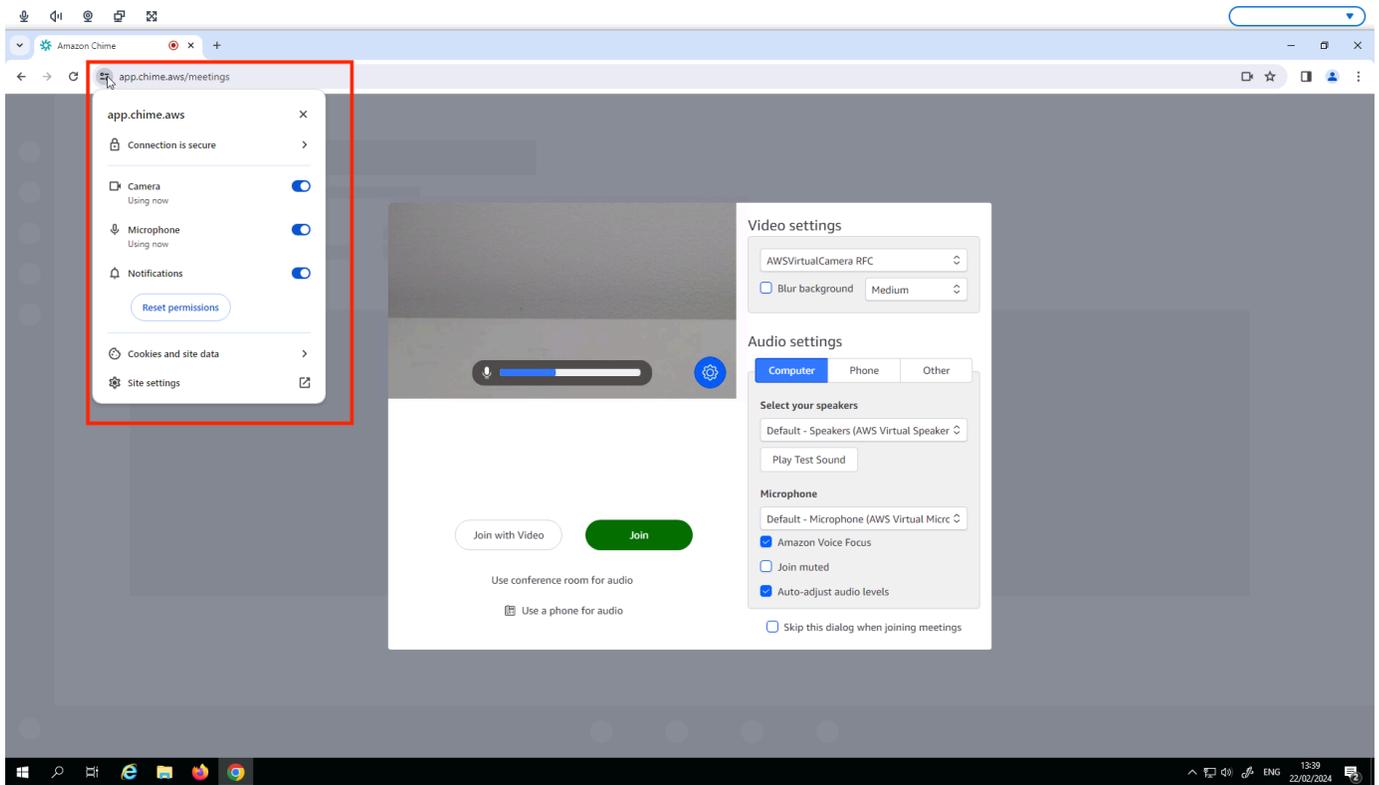
AppStream 2.0 または Amazon WorkSpaces Secure Browser で周辺機器が有効になっていることを確認したら、ウェブブラウザから周辺機器を有効にする必要があります。[ウェブブラウザのアクセス許可の有効化](#)を参照してください。

ウェブブラウザでのアクセス許可の有効化

1. マイクとウェブカメラのアクセス許可を求めるポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップが表示されない場合は、アドレスバーの横にあるアイコンを選択できます。



2. ポップアップウィンドウで許可を選択します。
3. ブラウザ検索バーの設定アイコンを選択し、マイクとウェブカメラが有効になっていることを確認します。



Note

ウェブサイトでウェブカメラとマイクを使用するたびに、上記のステップを繰り返す必要がある場合があります。

WorkSpaces シンククライアントでのサウンド設定の変更

WorkSpaces シンククライアントには、ボリュームやマイクのミュートリングなど、設定できるサウンド設定がいくつかあります。

仮想デスクトップからボリュームレベルを設定する

周辺機器をセットアップしたら、VDIツールバーまたはデバイスでボリューム設定を制御できます。詳細については、[WorkSpaces 「シンククライアントのサウンド設定の変更」](#)を参照してください。

VDI ツールバーの詳細については、以下を参照してください。

- Amazon WorkSpaces Secure Browser については、[WorkSpaces 「Secure Browser Access」](#)を参照してください。

- AppStream 2.0 については、[「ウェブブラウザアクセス」](#)を参照してください。
- Amazon WorkSpaces Web については、[「ツールバーを使用する」](#)を参照してください。

ボリュームを設定した後は、Amazon WorkSpaces シンククライアントを再起動しても、そのレベルのままになります。

WorkSpaces シンククライアントのデフォルトボリュームの変更

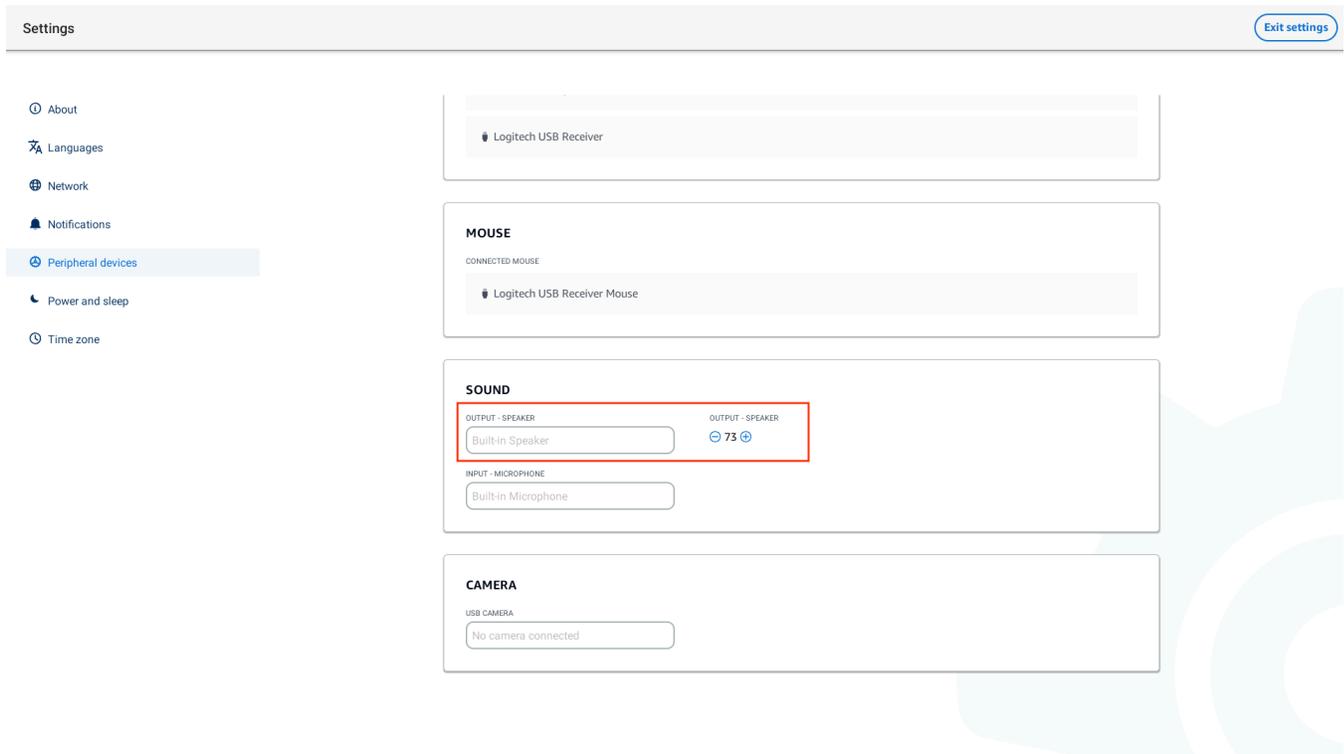
WorkSpaces シンククライアントデバイスには、周辺機器に応じて 2 つのデフォルトのボリューム設定があります。

- WorkSpaces シンククライアントデバイスのデフォルトのボリュームは 73 です。
- 接続されたヘッドセットのデフォルトボリュームは 40 です。

これらのデフォルトは変更できます。

デバイススピーカーのデフォルトボリューム (出力) の変更

1. デバイスからヘッドセットを切断します。
2. 次のいずれかを実行してボリュームを変更します。
 - 設定、周辺機器、サウンドに移動し、+ および - アイコンを使用して出力スピーカーを変更します。



Note

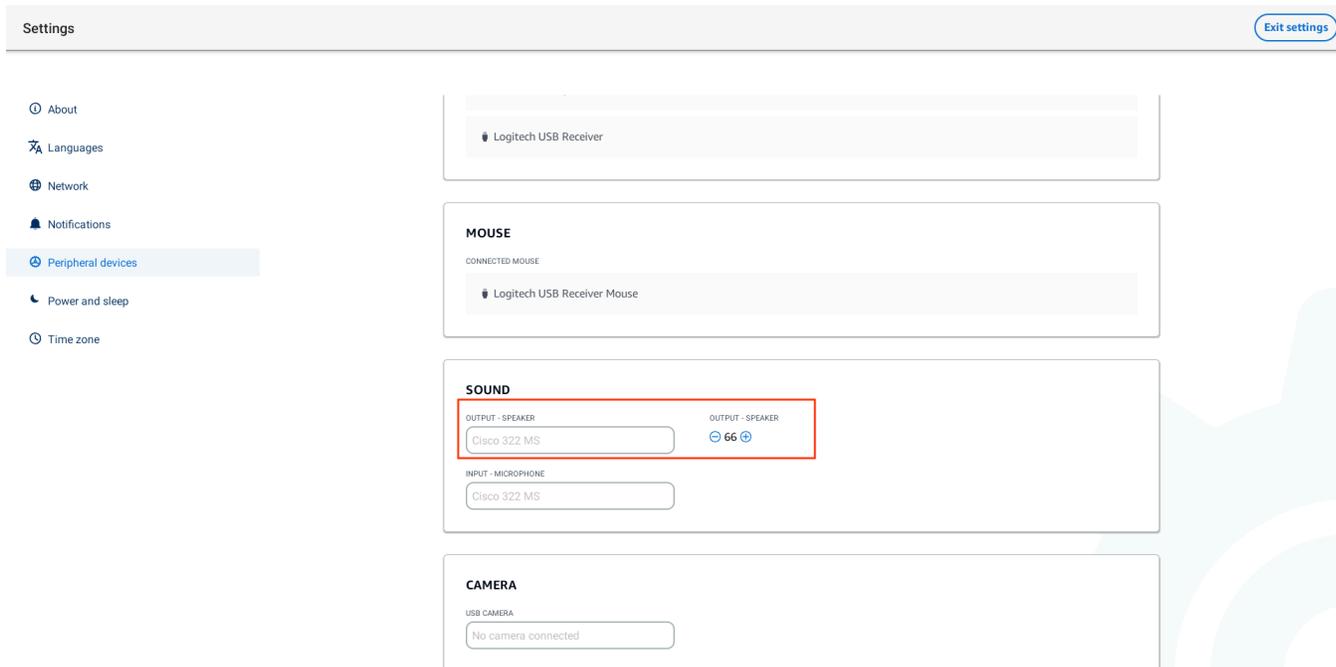
デバイスの再起動やヘッドセットのボリュームの変更を行っても、組み込みのスピーカーボリュームは変わりません。

- デバイスの上部にある + および - ボリュームボタンを押して、ボリュームを増減します。



ヘッドセットのデフォルトボリューム (出力) の変更

1. ヘッドセットをデバイスに接続します。
2. 次の手順を実行してボリュームを変更します。
 - 設定、周辺機器、サウンドに移動し、+ および - アイコンを使用して出カスピーカーを変更します。



- デバイスの上部にある + および - ボリュームボタンを押して、ボリュームを増減します。

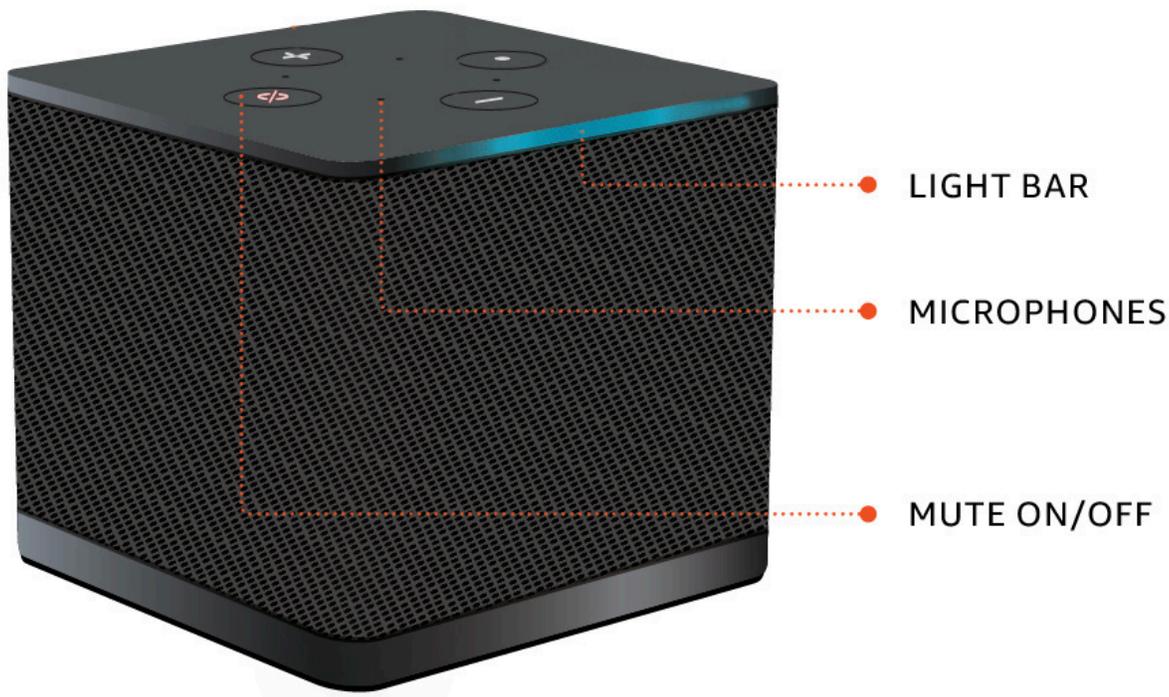


- ヘッドセットにボリュームボタンがアタッチされている場合は、それを使用できます。

WorkSpaces シンククライアントでのミュートの使用

Mute 関数は、次のいずれかを実行して使用できます。

- WorkSpaces シンククライアントで接続されているマイクと組み込みマイクをすべてミュートする場合は、デバイスの上にあるミュートボタンを使用します。ミュートがアクティブ化されると、ボタンのアイコンが赤く点灯します。



- デバイスマイクのみをミュートする場合は、マイク付きのヘッドセットをデバイスに接続します。デバイスマイクは自動的にミュートされます。

ディスプレイ解像度の管理

WorkSpaces シンククライアントは、プライマリモニターと拡張モニターの2つのディスプレイをサポートします。デバイスは、デバイスの起動時に各ディスプレイで使用する最適な解像度を決定します。サポートされている最大解像度は、次の表に示すように、接続したディスプレイの数によって異なります。

ディスプレイ	解決方法
1 (プライマリモニターのみ)	3840x2160
2 (拡張モニター)	1920x1080

Note

プライマリ 4K モニターはリストされている最大解像度が可能ですが、一部の仮想デスクトップインターフェイスの解像度は低くなります。[フル解像度ではない 4K モニター](#)を参照してください。

4K モニターの接続

4K 解像度は、WorkSpaces シンククライアントデバイスにあるプライマリモニターHDMIポートでのみ使用できます。



WorkSpaces シンククライアントは、プライマリモニターHDMIポートに接続されると、超高解像度 (4k) モニターを自動的に認識します。サポートされている 4K モニターのリストについては、[「サポートされている周辺機器」](#)を参照してください。

Note

プライマリモニターを 4K 解像度に設定している場合、拡張モニターを使用することはできません。

WorkSpaces シンククライアントでの 4K 解像度の使用

1. 4k モニターを WorkSpaces シンククライアントデバイスにあるHDMIOUTポートに接続します。
2. デバイスをオンにします。

デバイスは高密度ディスプレイを認識し、解像度を自動的に設定する必要があります。

表示解像度の変更

WorkSpaces シンククライアントデバイスディスプレイの解像度を変更できます。必要に応じて、4K モニターの解像度設定を下げることもできます。

4K ディスプレイを標準解像度に下げると、WorkSpaces Thin Client はこの設定を記憶し、そのディスプレイの 1080p モードで起動します。この設定を変更しない場合、4K ディスプレイは引き続き 4K 解像度を自動的に使用します。この環境設定は、解像度をリセットすることで削除できます。詳細については、「ディスプレイ解像度のリセット」を参照してください。

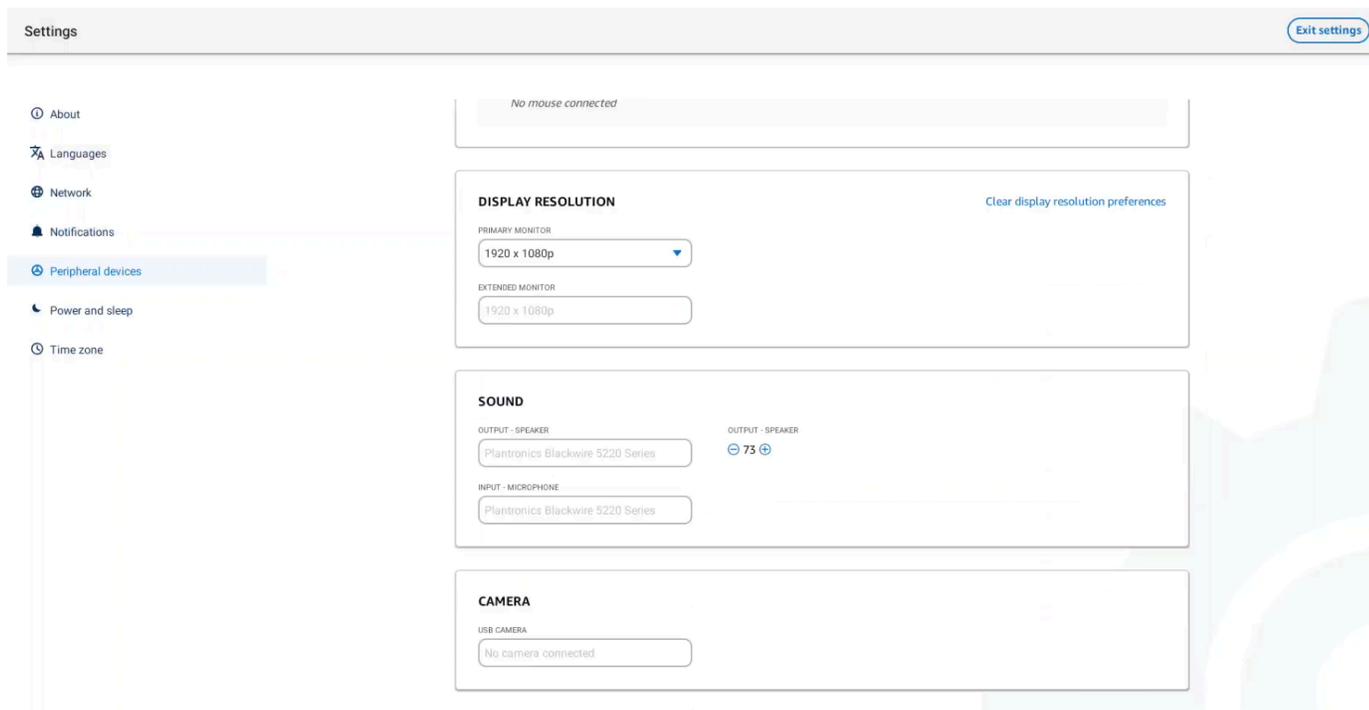
Note

新しいディスプレイを接続する前、またはディスプレイを切り替える前に、WorkSpaces シンククライアントデバイスをシャットダウンする必要があります。新しいディスプレイが接続されたら、デバイスに電源を入れ、解像度を設定します。

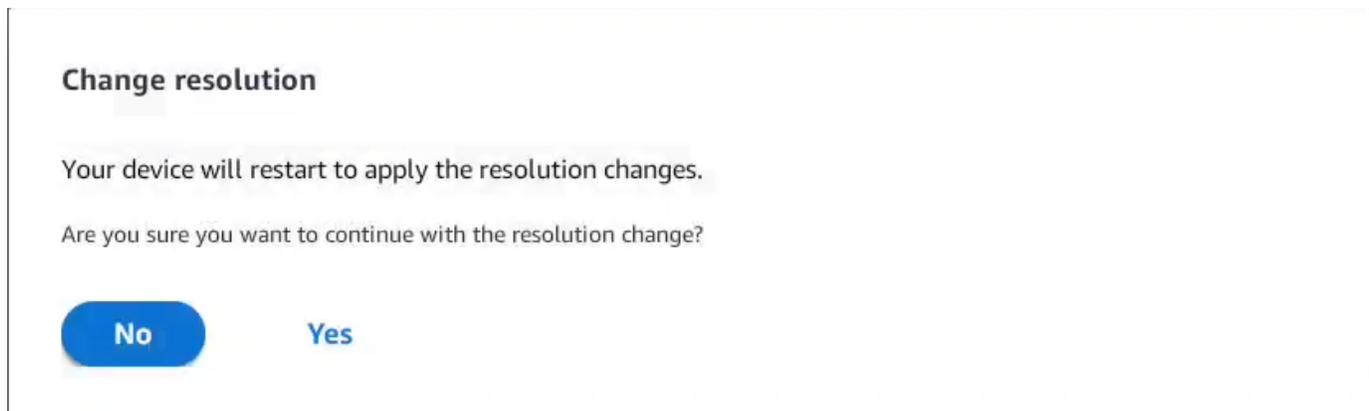
表示解像度の変更

1. プライマリモニターのツールバーから設定を選択します。
2. **周辺機器** を選択します。

3. Display Resolution に移動します。
4. Primary Monitor を選択してドロップダウンメニューを開きます。



5. 次のいずれかを選択します。
 - 3840x2160 – 超高解像度をサポートする単一のモニターを使用する場合の 4K 解像度。
 - 1920x1080 – 任意の 2 つのモニターを使用する場合の標準解像度。
6. ポップアップウィンドウではいを選択して、デバイスを再起動します。



ディスプレイ解像度のリセット

WorkSpaces シンククライアントデバイスの表示設定をリセットできます。これにより、接続されているすべてのディスプレイに設定された設定がすべて削除されます。デバイスは、そのディスプレイでサポートされている最高の解像度に設定をリセットします。

ディスプレイ解像度のリセット

1. プライマリモニターのツールバーから設定を選択します。
2. 周辺機器 を選択します。
3. Display Resolution に移動します。
4. ディスプレイ解像度設定のクリア を選択します。
5. ポップアップウィンドウで再起動を選択します。

画面キャプチャの実行

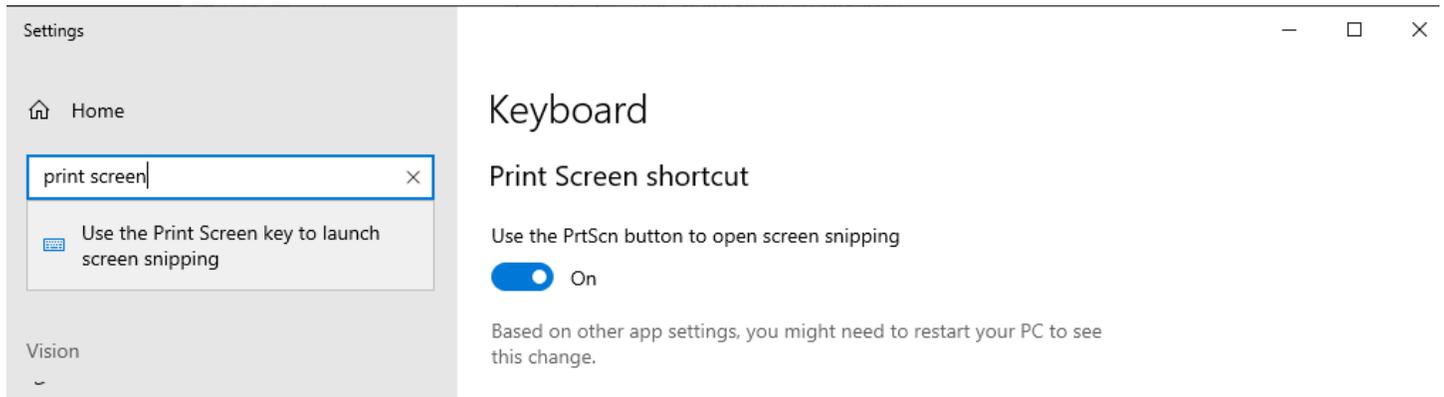
WorkSpaces シンククライアントは、画面キャプチャを実行したり、表示の内容のイメージを保存したりできます。

PrintScreen ボタンの使用

Windows 10 または Windows 11 を使用している場合は、キーボードの右上にあるPRINTSCREENボタンを使用できます。キーボードによっては、ボタンに PrintScreen または のラベルが付けられませんがPrtScn。

画面キャプチャは、ディスプレイまたはディスプレイ全体の選択したアクティブなウィンドウで実行できます。

Print Screen キーを使用するには、Windows 設定で Print Screen キーボードショートカットを有効にする必要があります。



ディスプレイでのイメージのキャプチャ

1. を押しますPRINTSCREEN。
2. CTRL + V を押して、イメージを別のアプリケーションに貼り付けます。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動

WorkSpaces シンククライアントを再起動または再起動する必要がある場合は、2 つの方法でこれを行うことができます。

ツールバーを使用して再起動する

1. 円形矢印アイコンを選択するか、ツールバーでデバイスを再起動を選択します。



Restart device

2. [デバイスの再起動] ウィンドウで [はい] を選択します。

手動再起動

1. WorkSpaces シンククライアント背面の電源ケーブルを抜きます。

2. 10 秒待ってから、電源ケーブルを WorkSpaces シンククライアントに差し込みます。

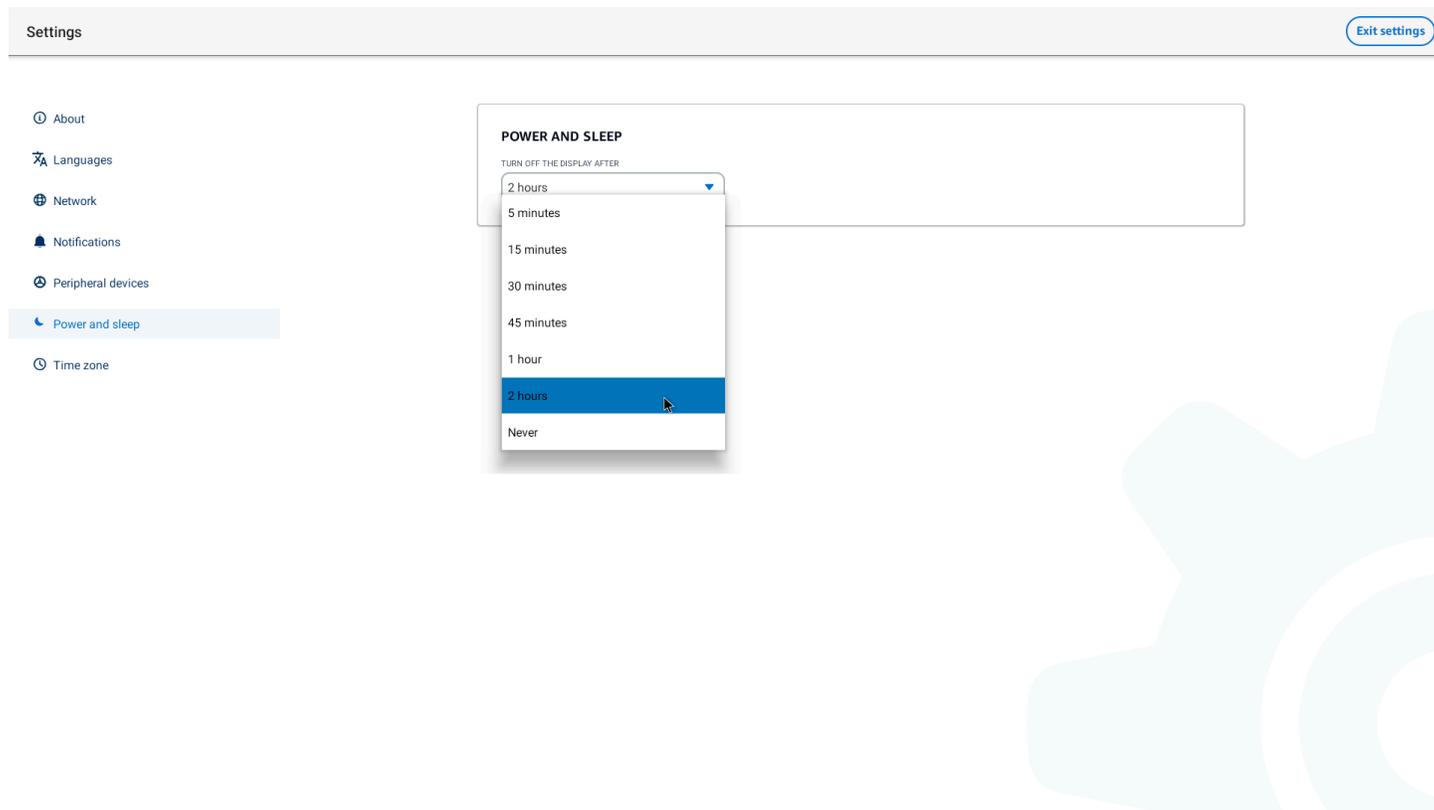
スリープモードの設定

Amazon WorkSpaces シンククライアントには、指定した期間非アクティブのままになっている場合、表示をオフにするスリープモードがあります。これにより、アイドル時のエネルギー消費が軽減されます。

スリープモードのデフォルトの期間は 15 分間の非アクティブです。マウスを移動したり、キーボードのキーを押すと、スリープモードがリセットされます。

スリープモードの設定は、次の方法で変更できます。

1. 設定 に移動します。
2. Power と Sleep を選択します。
3. ドロップダウンメニューから値を選択します。次のいずれかに変更できます。
 - 5 分
 - 15 分
 - 30 分
 - 45 分
 - 1 時間
 - 2 時間
 - なし



ネットワークの管理

仮想デスクトップにアクセスするには、WorkSpaces シンククライアントデバイスを Wi-Fi ネットワークに接続する必要があります。WorkSpaces シンククライアントデバイスから Wi-Fi ネットワークを管理できます。ネットワークに接続すると、オンにすると、デバイスは自動的にそのネットワークにサインインします。

トピック

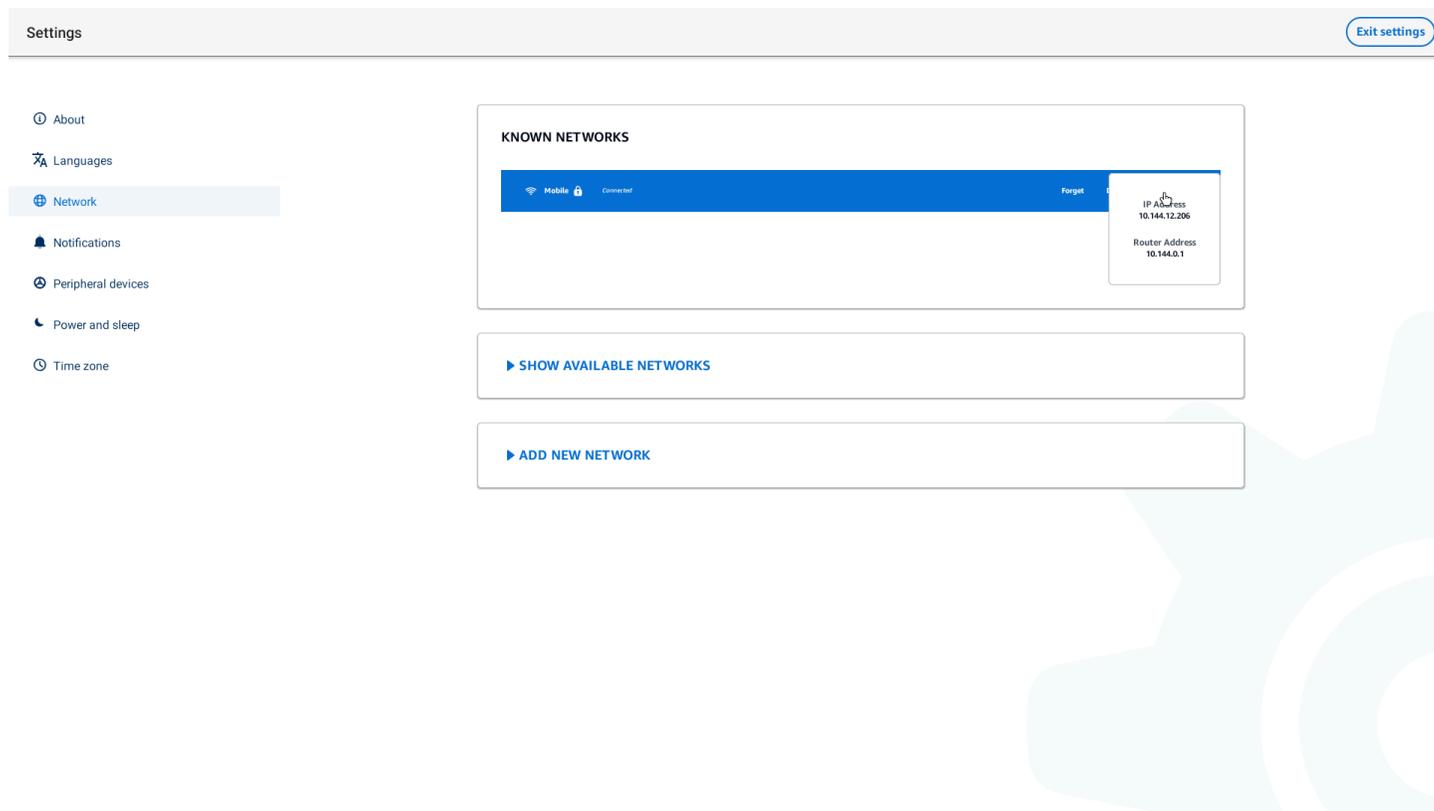
- [ネットワークの詳細の表示](#)
- [ネットワークの切断](#)
- [ネットワークを忘れる](#)
- [使用可能なネットワークを表示する](#)
- [新しいネットワークを追加する](#)

ネットワークの詳細の表示

各ネットワークには、関連付けられたアドレスがあります。

1. 設定、ネットワーク、既知のネットワーク に移動します。
2. 水平楕円アイコン (...) を選択します。

アドレス情報を含むリストは、次の画像に示すように表示されます。



ネットワークの切断

現在使用中のネットワークから切断できます。

1. 設定、ネットワーク、既知のネットワーク に移動します。
2. 使用しているネットワークから切断を選択します。

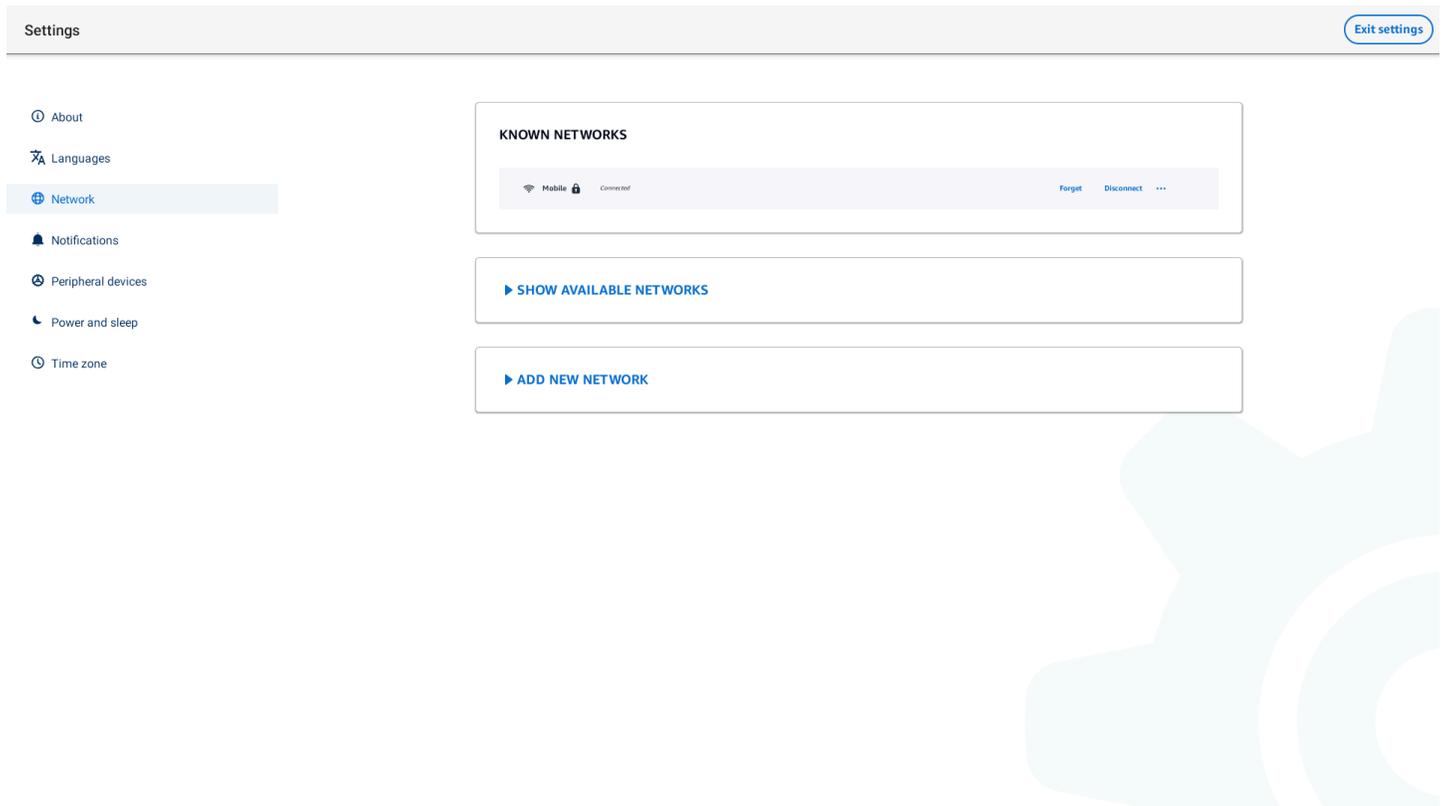
その後、WorkSpaces シンククライアントデバイスは、リストされている次に利用可能なネットワークにサインインします。再接続するには、既知のネットワークリストからネットワークをダブルクリックします。

ネットワークを忘れる

WorkSpaces シンククライアントは、設定した Wi-Fi ネットワークに自動的にサインインします。現在を使用しているか、使用していないネットワークに参加している場合、デバイスはこのネットワークを忘れる可能性があります。

デバイスは既知の Wi-Fi ネットワークのみを忘れることができます。デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続したことがない場合、そのネットワークを忘れるオプションはありません。

デバイスはイーサネット接続ネットワークを忘れることはできません。

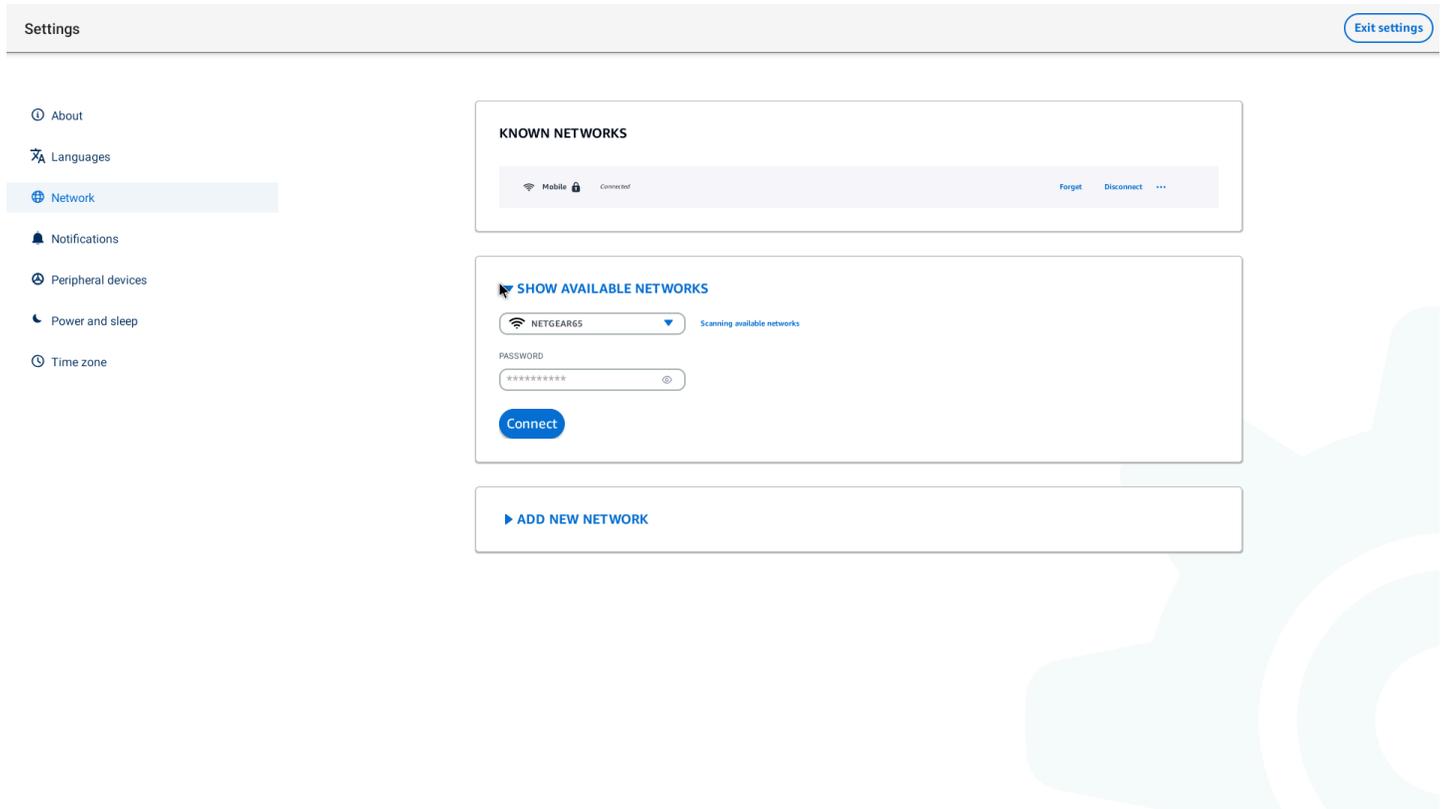


1. 設定、ネットワーク、既知のネットワーク に移動します。
2. 目的のネットワークから Forget を選択します。

ネットワークは Known Networks リストから削除されます。このネットワークに再度参加する場合は、[利用可能なネットワークを表示する](#)か、[新しいネットワークを追加](#)を使用してネットワークに再度接続してください。

使用可能なネットワークを表示する

WorkSpaces シンククライアントデバイスは、エリア内の Wi-Fi ネットワークをスキャンします。デバイスがそれらを一覧表示したら、利用可能な任意のネットワークにサインオンできます。



1. 設定、ネットワーク、使用可能なネットワークの表示 に移動します。

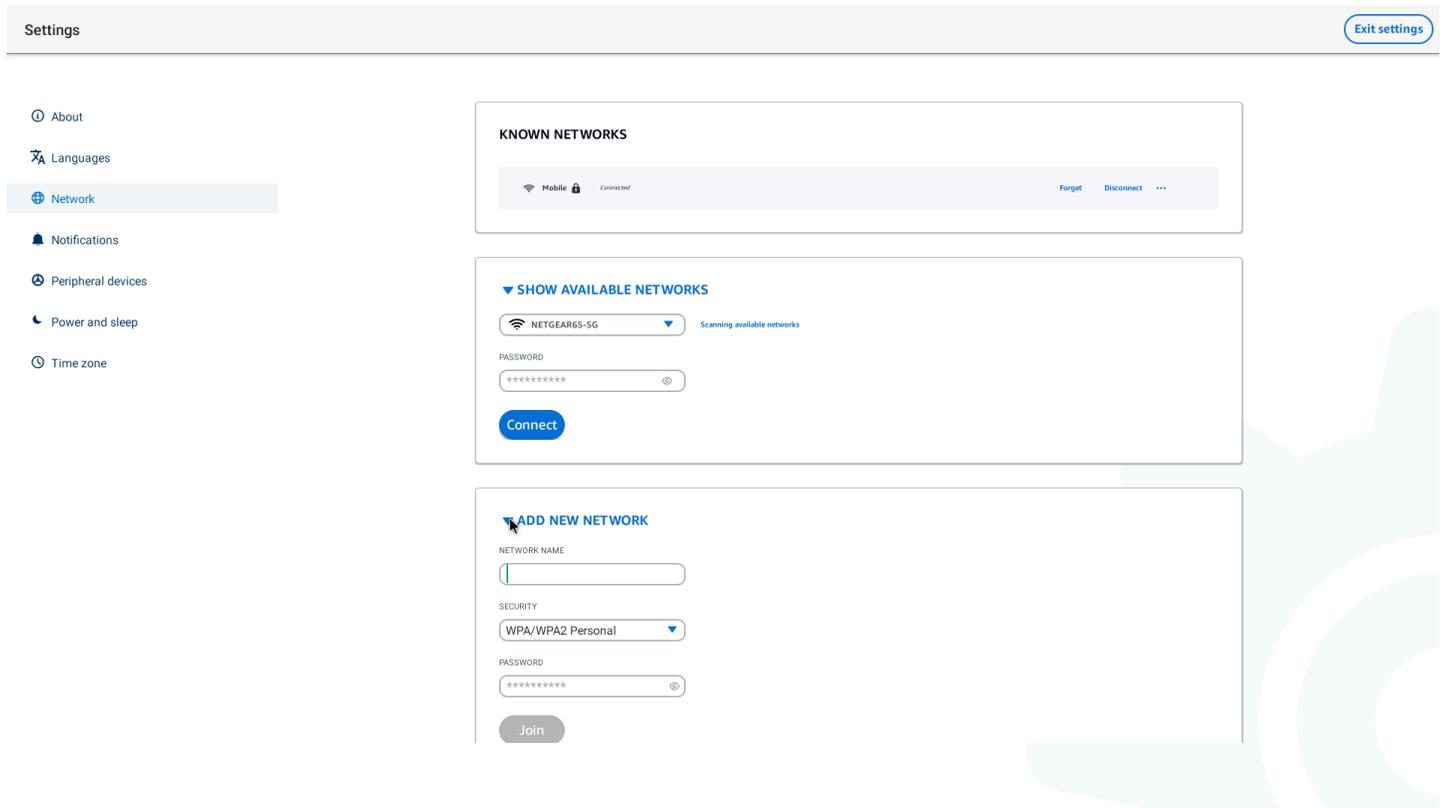
選択すると、WorkSpaces シンククライアントデバイスは利用可能なネットワークについてそのエリアをスキャンします。

2. スキャンが完了したら、使用可能なネットワークのリストからネットワークを選択します。
3. パスワードフィールドにネットワークのパスワードを入力します。
4. [Connect] (接続) を選択します。

デバイスは選択したネットワークに接続し、Known Networks リストに追加します。

新しいネットワークを追加する

使用する特定の Wi-Fi ネットワークがある場合は、WorkSpaces シンククライアントデバイスに接続できます。



1. 設定、ネットワーク、新しいネットワークの追加 に移動します。
2. Network Name フィールドにネットワークの名前を入力します。
3. Security のリストからセキュリティプロトコルを選択します。
4. パスワードフィールドにネットワークのパスワードを入力します。
5. [Join] (結合) を選択します。

デバイスは選択したネットワークに接続し、既知のネットワークリストに追加します。

ソフトウェア更新の延期

WorkSpaces シンククライアントデバイスには定期的な更新が必要です。これらの更新は、IT 管理者が管理します。更新の準備が整うと、管理者はそれをデバイスにリリースします。必要に応じて、これらの更新を延期または延期できます。更新を受信すると、画面には以下の画像のようなポップアップ通知が表示されます。

3つのオプションがあります。

- 今すぐインストールする

今すぐインストール を選択すると、デバイスはすぐに更新をインストールします。これにより、現在のセッションから切断されるため、更新後に再度ログインする必要があります。更新後にデバイスを再起動することをお勧めします。

- 1 時間以内にインストールする

1 時間以内にインストール を選択すると、更新は 1 時間延期されます。その後、ポップアップ通知が再度届きます。

それより前にデバイスを再起動すると、その時点で更新がインストールされます。ポップアップ通知は再度表示されません。

- メンテナンスウィンドウ中に をインストールする

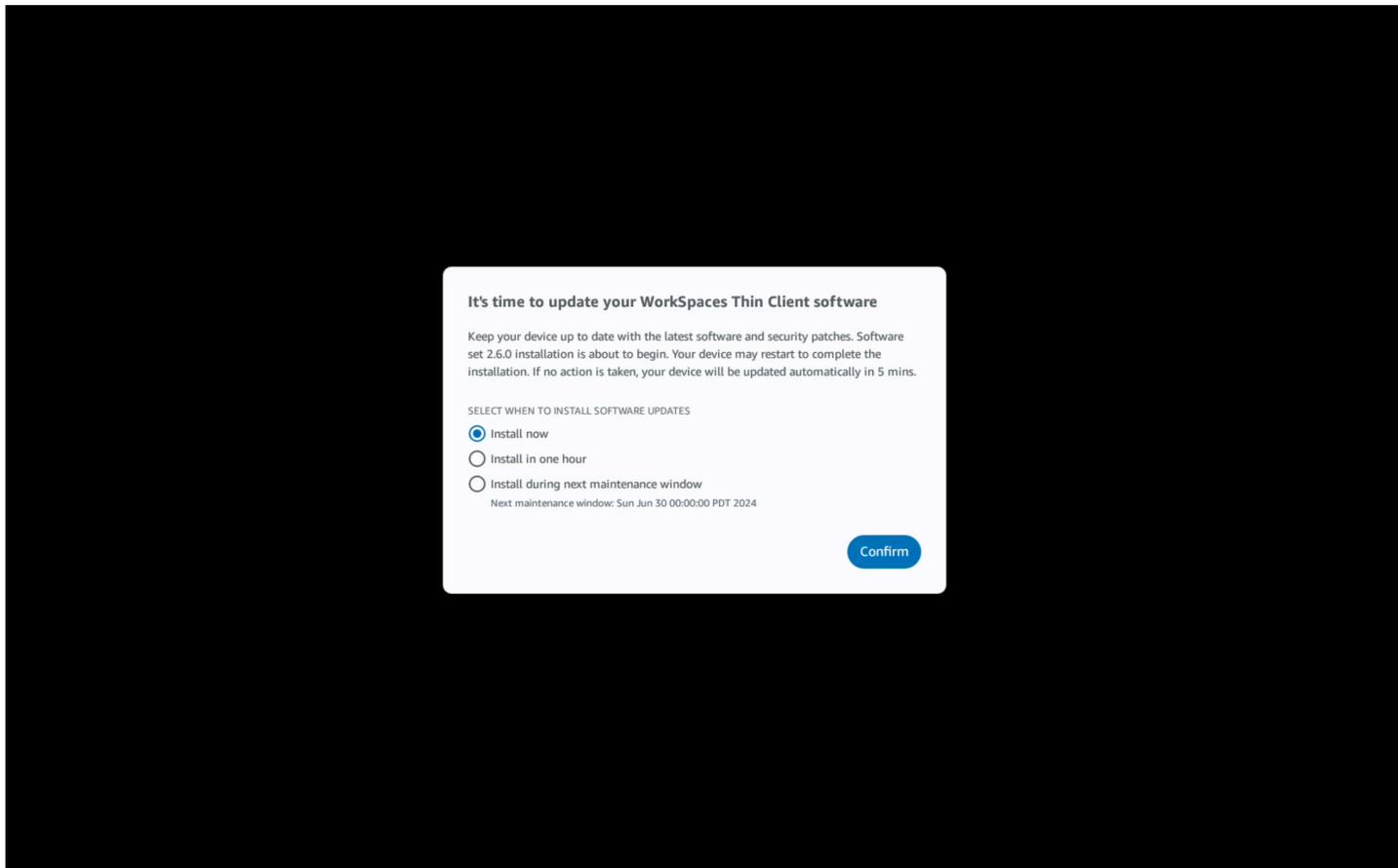
次のメンテナンスウィンドウ でインストールを選択すると、更新は次回のスケジュールされたメンテナンスウィンドウまで延期されます。メンテナンスウィンドウ時間は管理者によって管理されます。詳細については、IT 管理者にお問い合わせください。

例えば、IT 管理者は毎週日曜日の夜の午後 10 時にメンテナンスウィンドウを設定します。更新を延期して、メンテナンスウィンドウ中にインストールします。したがって、次の日曜日の夜の午後 10 時に、デバイスが再びポップアップ通知を受け取ります。または、管理者が毎週月曜日、水曜日、金曜日にメンテナンスウィンドウを設定している場合。更新は月曜日に延期します。水曜日、デバイスはポップアップ通知を再度受け取ります。いずれの場合も、再度延期しない場合、更新は 5 分後にインストールされます。

それより前にデバイスを再起動すると、その時点で更新がインストールされます。ポップアップ通知は再度表示されません。

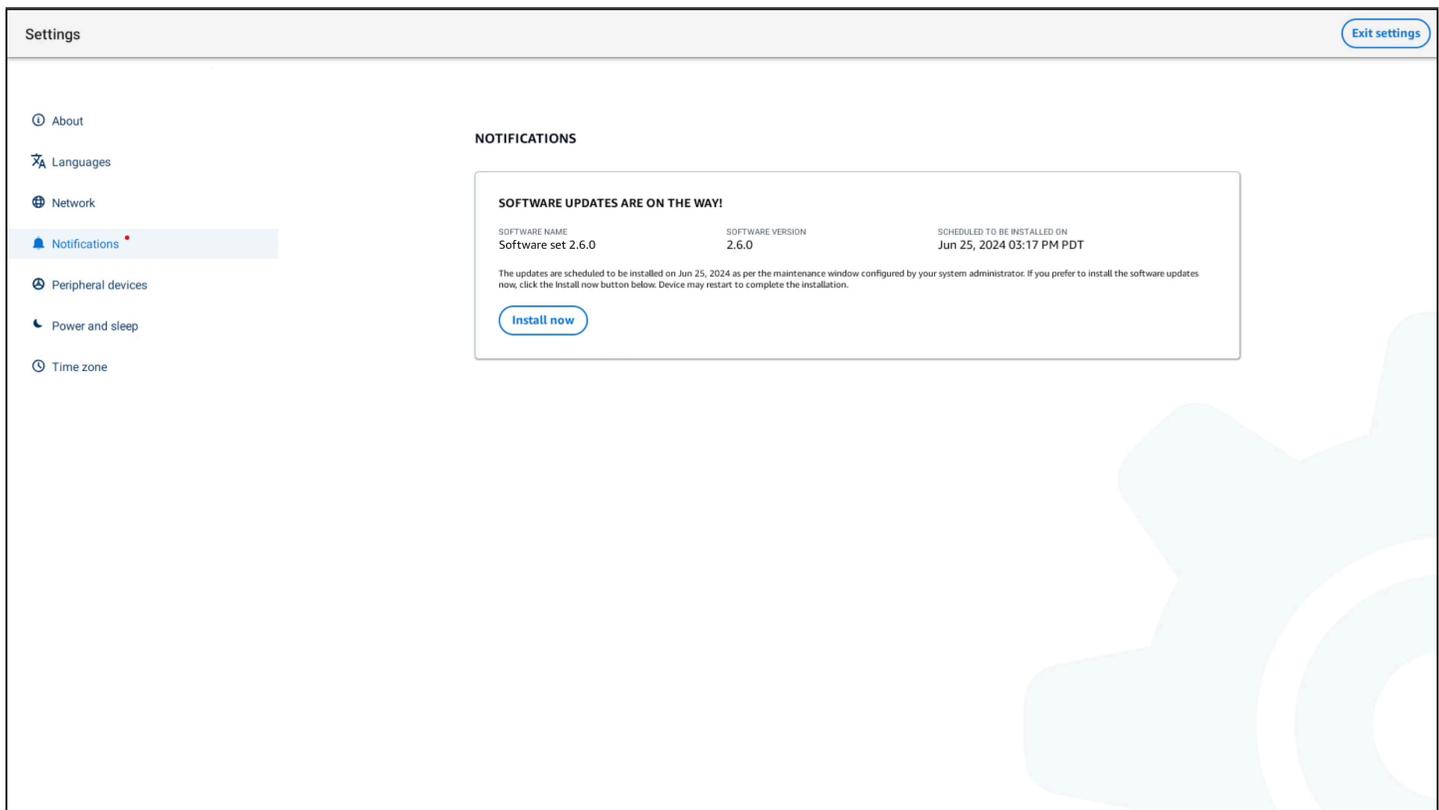
 Note

5 分以内に選択を行わないと、デバイスは自動的に更新のインストールを開始します。



1 時間でインストール または次のメンテナンスウィンドウ でインストール を選択した場合、設定の通知セクションに更新に関連する通知が表示されます。この例については、以下の画像を参照してください。

通知には、更新されたソフトウェアの名前、バージョン番号、ポップアップ通知が再度表示されるタイミングが通知されます。更新をすぐにインストールする場合は、今すぐインストール を選択します。



更新を延期し続けることができます。ただし、特定の時点を超えると、デバイスはスケジュールより遅れていると見なされます。この場合、更新は自動的にインストールされます。

WorkSpaces シンククライアントの仕様

トピック

- [WorkSpaces シンククライアントデバイスの仕様](#)
- [USB ハブ仕様](#)
- [サポートされている周辺機器](#)

WorkSpaces シンククライアントデバイスの仕様

[Size] (サイズ)	3.38 インチ x 3.38 インチ x 2.99 インチ (86 mm x 86 mm x 77 mm)
[Weight] (重量)	513 グラム (1.13 ポンド)
プロセッサ	オクタコア 4x 2.2 GHz 4x 2.0GHz
GPU	800 MHz
[Storage (ストレージ)]	16 GB 内蔵
メモリ	2 GB 内蔵
Wi-Fi	Wi-Fi 6E トライバンド。802.11a/b/g/n/ac/ax Wi-Fi ネットワークもサポートしています。Wi-Fi 6E をサポートするには、WorkSpaces シンククライアントをWPA3暗号化を使用して Wi-Fi 6E ネットワークの 6 GHzバンドに接続する必要があります。
イーサネット	サポート
ポート	HDMI 2.1 出力、電源、USB-A 2.0、イーサネットポート 10/100 Mbps

Note

2HDMI.1 入力ポートと IR エクステンダーポートはサポートされていません。

出力表示解像度	1080p
データ接続要件	Wi-Fi または組み込みイーサネットポートと電源コンセントを介した高速インターネット接続。18 Gbps 以上の高速HDMIケーブル。Wi-Fi 6E をサポートするには Wi-Fi 6E ルーターが必要です。

USB ハブ仕様

ディスプレイポート	1 x HDMI ポート (最大 4K @ 30 Hz、ミラーディスプレイまたは拡張ディスプレイをサポート)
USB ポート	4 x USB 3.0 ポート
電力	1 x DC ジャック (5 V @ 3 A、O.D. 3.5 mm x I.D. 1.35 mm バレルコネクタをサポート)
サポート OS	Android

サポートされている周辺機器

WorkSpaces シンククライアントは、さまざまな周辺機器で使用できます。特定の周辺機器が WorkSpaces シンククライアントと互換性があるかどうかを確認するには、以下を参照してください。

Note

これらのデバイスは Amazon WorkSpaces シンククライアントで動作することが検証されています。他の周辺機器を使用できますが、サポートされていない場合があります。

キーボード

WorkSpaces シンククライアントでサポートされているすべてのキーボードのレイアウトは、[「キーボードレイアウト」](#)に記載されています。

- 米国レイアウトの Amazon Basics 低プロファイル有線USBキーボード
- Hyundai HY-MA75wired USB interface マウスとキーボードのセット、米国レイアウト

- Dell Keyboard-KB212、米国レイアウト
- Dell Keyboard-KB216、米国レイアウト
- Logitech MK120 有線キーボードとマウスコンボ、米国レイアウト
- Logitech K120 有線キーボード、米国レイアウト
- Logitech K120 キーボード、フランス語レイアウト
- Logitech K120 キーボード、スペイン語レイアウト
- Logitech K120 キーボード、英国レイアウト
- Logitech K280e Pro Wired Business Keyboard、QWERTZドイツ語レイアウト
- Logitech K580 ワイヤレスキーボード、米国レイアウト
- Logitech MK320 ワイヤレスキーボードとマウスコンボ、米国レイアウト
- Logitech MK330 ワイヤレスキーボードとマウスコンボ、QWERTYイタリア語レイアウト
- Logitech MK270 ワイヤレスキーボードとマウスコンボ、米国レイアウト
- Windows 用 Logitech MK270 ワイヤレスキーボードとマウスコンボ、QWERTZドイツ語レイアウト
- Logitech 署名 K650 ワイヤレスキーボード、米国レイアウト
- HP ブラック KU-1156、米国レイアウト
- HP CS10 ワイヤレスキーボードマウスコンボ、米国レイアウト

マウス

- Logitech B120 有線マウス
- Logitech B100 有線マウス
- Logitech M90 有線マウス
- HP 200 ワイヤレス光学式マウス

モニタリング

- Acer LCD Monitor KA2 シリーズ/KA272
- レノボ ThinkVision 27 インチモニター - P27h-20
- レノボ ThinkVision 31.5 インチモニター - P32p-20

ウェブカメラ

- Logitech C270 HD ウェブカメラ
- AUSDOM 「Autofocus 1080P Webcam with Privacy Cover」
- eMeet C950 1080P ウェブカメラ
- Cisco デスクカメラ CD-DSKCAM-C-US

ヘッドセット

- Jabra Evolve 20 UC 有線ヘッドセット
- Jabra Evolve 30 UC 優先ヘッドセット
- Logitech H390 有線ヘッドセット
- Sennheiser EPOS Impact 60 有線ヘッドセット
- Cisco ヘッドセット 322 HS-W-322-C -USB
- Cisco ヘッドセット 532 CP-HS-W-532-USBA
- Cisco Wireless Headset 562 with Standard Base CP-HS-WL-562-M-US

Note

すべてのヘッドセットで、音量ボタンのみがサポートされます。その他のメディアボタンはサポートされていません。

USB ハブ

- Zhenyou EVTハブ (USB-A) - ZYHB03

キーボード、マウス、ウェブカメラ、ヘッドセット、デュアルスクリーン拡張をサポートします。

- Anker 4-Port USB 3.0 ハブ

キーボード、マウス、ウェブカメラまたはヘッドセットをサポートします。

- 冪等性 4-PortUSBハブ

キーボードとマウスのみをサポートします。

トラブルシューティング

トピック

- [WorkSpaces シンククライアントデバイスのトラブルシューティング](#)
- [WorkSpaces シンククライアントの既知の問題](#)
- [仮想デスクトップインターフェースのトラブルシューティング](#)

WorkSpaces シンククライアントデバイスのトラブルシューティング

WorkSpaces シンククライアントデバイスに問題がある場合は、以下の手順を確認してください。

周辺機器は認識されません

WorkSpaces シンククライアントデバイスが使用している周辺機器を認識していない場合は、まずシンク WorkSpaces クライアントと互換性があることを確認してください。互換性のある周辺機器のリストについては、「[サポート対象デバイス](#)」を参照してください。

周辺機器が WorkSpaces シンククライアントと互換性があり、それでもデバイスで認識されない場合は、以下を実行します。

1. WorkSpaces シンククライアントデバイスをオフにします。
2. 周辺機器を切断します。
3. 周辺機器を再接続します。
4. USB ハブが付属のハブ電源アダプターで電源に接続されていることを確認します。
5. USB ハブが WorkSpaces シンククライアントデバイスに接続されていることを確認します。
6. WorkSpaces シンククライアントデバイスをオンにします。
7. ツールバーの [設定] 歯車アイコンを選択し、[周辺機器] に移動して、周辺機器名を確認します。

WorkSpaces シンククライアントワークスペースにアクセスできない

WorkSpaces シンククライアントデバイスが仮想 にアクセスできない場合は WorkSpace、以下を実行します。

1. デバイスのネットワーク設定に移動します。

2. デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。
3. 仮想サービスインターフェースのネットワークトラブルシューティングセクションを参照してください。
 - については WorkSpaces、[WorkSpaces 「問題のトラブルシューティング」](#)を参照してください。
 - WorkSpaces Secure Browser については、[「トラブルシューティング」](#)を参照してください。
 - AppStream 2.0 の場合は、[「トラブルシューティング」](#)に移動します。

ヘッドセットの音量が非常に小さいか、聞こえない

ヘッドセットの音量に問題がある場合は、次の手順を行ってください。

1. 画面の右側にあるツールバーを選択します。[設定] → [周辺機器] に移動します。
2. Audio セクションまでスクロールダウンし、出力ボリュームを調整します。

Note

システムの再起動後、WorkSpaces Thin Client は接続されたUSBヘッドセットのボリュームレベルをリセットします。

オーディオビデオ会議通話中にオーディオがひび割れたり、障害が発生したりする

WorkSpaces シンククライアントでオーディオの問題が発生した場合は、次のいずれかの手順を実行します。

WorkSpaces シンククライアントデバイスを確認する

1. オーディオUSBヘッドセットがUSBハブに接続され、USBハブがオンになっていることを確認します。
2. サポートされている周辺機器を確認して、お使いのデバイスがサポートされていることを確認してください。

VDI セッションのログイン画面上にある場合

1. 画面右上の設定を選択します。
2. デバイス ID を探します。
3. 診断チェックを実行し、デバイスと高度なログ記録の両方が有効になっていることを確認します。

現在VDIセッションに参加している場合

1. 画面の右側にあるツールバーに移動します。
2. 設定 → 周辺機器 → オーディオ を選択します。
3. USB ヘッドセットが一覧表示され、ボリュームが目的のレベルに設定されていることを確認します。
4. デバイスが Wi-Fi またはイーサネットに接続されており、への接続に問題がないことを確認します WorkSpaces。

現在VDIセッションに参加していない場合

1. WorkSpaces ログインページで、画面右上の設定を選択します。
2. デバイス ID を探します。
3. 診断と高度なログ記録が有効になっていることを確認します。

WorkSpaces シンククライアントの既知の問題

WorkSpaces シンククライアントには、次の既知の問題があります。

VDI ログイン画面でリンクを選択した場合は、ログイン画面に戻る必要があります。

回避策：ロック/ロック解除ボタンを選択します。これによりVDIログインに戻り、2番目のモニターはプライマリモニターをミラーリングします。

キーボードショートカットを使用すると、予期しない動作が発生する可能性があります。

回避策: この問題の回避策はありません。

デバイスの実行中に一部の周辺機器が認識されない場合があります。

回避策： デバイスのプラグを抜き、再度接続するか、デバイスを再起動します。

設定からイーサネットネットワークの IP アドレスを表示することはできません。

回避策: この問題の回避策はありません。

VDI ツールバーの一部のメニューオプションが表示されますが、機能しません。

回避策: このリリースでは、これらの機能は有効になっていません。

OOBE または 設定で サポートされているキーボードレイアウト が見つかりません。

回避策： ソフトウェアセット 2.2.0 以降を使用していることを確認します。[WorkSpaces シンククライアントソフトウェアリリースの最新のソフトウェア](#)セットを確認します。キーボードレイアウトのサポートなしで Wi-Fi パスワードを入力できない場合は、イーサネット接続を使用することもできます。

デバイス設定でサポートされているキーボードレイアウトを選択できますが、仮想セッション内で特定のキーを入力することはできません。

回避策： セッション内の入力方法が対応する言語に設定されていることを確認します。例えば、イタリア語レイアウトキーボードを使用する場合は、セッション内で入力メソッドをイタリア語に設定します。次の図を参照してください。

Language

Windows display language

Windows features like Settings and File Explorer will appear in this language.

Preferred languages

Apps and websites will appear in the first language in the list that they support.

+ Add a language

English (United States)	🇺🇸 🗨️ 📄 🗑️ 🔄
Chinese (Simplified, China)	🇨🇳 🗨️ 📄 🗑️ 🔄
Italian (Italy)	🇮🇹 🗨️ 📄 🗑️ 🔄

Help from the web

[Choosing language settings for your keyboard](#)

[Installing language pack for speech](#)

[Changing Microsoft Store region](#)

[Adding an input language](#)

 [Give feedback](#)



ツールバーを初めて選択すると、ツールバーが展開または折りたたまれません。

回避策：マウスポインタがプライマリモニターにあることを確認し、ツールバーを再度展開または折りたたみます。ツールバーを展開するには、折りたたまれたツールバーの暗い領域を選択します。ツールバーを折りたたむには、プライマリモニター上の任意の領域を選択します。

スリープから目覚めると、WorkSpaces Thin Client デバイスはセッションを起動する前にキーボードとマウスのセットアップ画面を数秒間表示します。

回避策：キーボードとマウスのセットアップ画面は自動的に消えます。数秒後に画面が残った場合は、デバイスのプラグを抜いてから、再度接続するか、[デバイスを再起動します](#)。

WorkSpaces シンククライアントデバイスの再起動時に、エンドユーザーはセッションを起動する前に、更新の準備と確認の移行画面が繰り返し表示されます。

回避策：なし

WorkSpaces シンククライアントデバイスの更新は有効になっていません。

回避策：システム更新のたびにデバイスを再起動します。

ウェブカメラは有効になっておらず WorkSpaces、上部ツールバーのアイコンは灰色のままです。

回避方法:

1. ウェブカメラが WorkSpaces シンククライアントデバイスに正しく接続されていることを確認します。
2. WorkSpaces セッションが開始されてから 30 秒待ちます。
3. ウェブカメラが自動的に有効になっているかどうかを確認します。
4. まだ有効になっていない場合は、WorkSpaces シンククライアントデバイスを再起動し、もう一度確認してください。

4K モニターがフル解像度ではない

WorkSpaces シンククライアントは、プライマリモニターで最大 3840x2160 (4K) 解像度をサポートします。ただし、VDIストリーミングは最大 2354x1330 までしかサポートされません。

回避策: 該当なし。

WorkSpaces シンククライアントデバイスは、スリープ時間またはアイドル時間中にソフトウェア更新をインストールしません。

回避策：次のいずれかを実行します。

- メンテナンスウィンドウ中にデバイスを再起動します。
- コンソールの AWS ソフトウェア更新セクションに移動し、今すぐソフトウェアの更新を選択して更新をインストールします。

仮想デスクトップインターフェースのトラブルシューティング

仮想デスクトップインターフェースの問題の解決については、VDIプロバイダーのドキュメントを参照してください。

- については WorkSpaces、[WorkSpaces 「問題のトラブルシューティング」](#) を参照してください。
- WorkSpaces Secure Browser については、[「トラブルシューティング」](#) を参照してください。
- AppStream 2.0 の場合は、[トラブルシューティング](#) に進みます。

WorkSpaces シンククライアントユーザーガイドのドキュメント履歴

次の表は、WorkSpaces シンククライアントユーザーガイドのドキュメントリリースを示しています。

変更	説明	日付
<ul style="list-style-type: none">ツールバーの使用表示解像度の管理画面キャプチャの実行	<ul style="list-style-type: none">ツールバーの使用に関する新しいセクションを追加しました。表示解像度に関する新しいセクションを追加しました。画面キャプチャに関する新しいセクションを追加しました。	2024 年 9 月 6 日
<ul style="list-style-type: none">ネットワークの管理ソフトウェア更新の遅延	<ul style="list-style-type: none">ネットワークの詳細に関する新しいセクションを追加ソフトウェア更新を延期する新しい手順を追加しました	2024 年 7 月 8 日
<ul style="list-style-type: none">WorkSpaces シンククライアントデバイスの使用	<ul style="list-style-type: none">デバイス設定が折りたたまれたツールバーに表示され、表示画面の使用率が向上するエンドユーザーは、デバイスが非アクティブ状態でスリープするまでの待機時間を設定できるようになりました。エンドユーザーによって設定されたボリュームレベル	2024 年 4 月 5 日

変更	説明	日付
	が、デバイスの再起動後も維持されるようになりました	
<ul style="list-style-type: none">• キーボードレイアウト• サポートされている周辺機器	<ul style="list-style-type: none">• キーボードレイアウトセクションを追加• 欧州でサポートされているキーボードと更新されたサポートされているモニターを追加	2024 年 2 月 12 日
初回リリース	初回リリース	2023 年 11 月 26 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。